

8 地総受託都整第11号 菱刈庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事

図 面 リ ス ト

図面番号	図 面 名	縮尺	図面番号	図 面 名	縮尺
1	特記仕様書	NO SCALE	2 1	改修後 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 2階平面図	S=1/100
2	特記仕様書(改修その1)	NO SCALE	2 2	改修後 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 3階、屋上平面図	S=1/100
3	特記仕様書(改修その2)	NO SCALE	2 3	改修後 電灯(コンセント)設備 1階平面図	S=1/100
4	付近見取図、配置図、工事概要、特記事項	S=1/250	2 4	改修後 電灯(コンセント)設備 2階平面図	S=1/100
5	凡例表、石綿含有建材に係る石綿飛散防止対策について、建築物解体材処分のフロー	NO SCALE	2 5	改修後 電灯(コンセント)設備 3階、屋上平面図	S=1/100
6	高圧単線結線図、屋外型キュービクル参考姿図 構内引込柱参考図	S=1/ 30	2 6	改修後 拡声、自動火災報知設備 1階平面図	S=1/100
7	非常用発電機、燃料タンク参考姿図	S=1/ 20	2 7	改修後 拡声、自動火災報知設備 2階平面図	S=1/100
8	非常用発電機計算書	NO SCALE	2 8	天井改修 1～3階平面図、石綿含有調査一覧表	S=1/200
9	盤結線図1	NO SCALE	2 9	改修前 高圧単線結線図、キュービクル姿図 盤結線図	S=1/100
1 0	盤結線図2	NO SCALE	3 0	改修前 幹線、動力設備 1階平面図	S=1/100
1 1	盤結線図3	NO SCALE	3 1	改修前 幹線、動力設備 2階平面図	S=1/100
1 2	動力・電灯設備幹線系統図	NO SCALE	3 2	改修前 幹線、動力設備 3階、屋上平面図	S=1/100
1 3	配線リスト	NO SCALE	3 3	改修前 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 1階平面図	S=1/100
1 4	改修後 幹線、動力設備 1階平面図	S=1/100	3 4	改修前 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 2階平面図	S=1/100
1 5	改修後 1階機械室平面詳細図1	S=1/ 30 S=1/ 50	3 5	改修前 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 3階、屋上平面図	S=1/100
1 6	改修後 1階機械室平面詳細図2	S=1/ 30 S=1/ 50	3 6	改修前 電灯(コンセント)設備 1階平面図	S=1/100
1 7	改修後 幹線、動力設備 2階平面図	S=1/100	3 7	改修前 電灯(コンセント)設備 2階平面図	S=1/100
1 8	改修後 幹線、動力設備 3階、屋上平面図	S=1/100	3 8	改修前 電灯(コンセント)設備 3階、屋上平面図	S=1/100
1 9	照明器具参考姿図	NO SCALE	3 9	改修前 拡声、自動火災報知設備 1階平面図	S=1/100
2 0	改修後 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 1階平面図	S=1/100	4 0	改修前 拡声、自動火災報知設備 2階平面図	S=1/100

鹿児島県建築改修工事特記仕様書

- 共通仕様
図面及び特記仕様書に記載されていない事項は、全て国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築改修工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「改修標準仕様書」という）により、改修標準仕様書に記載されていない事項は、国土交通省大臣官房官庁営繕部監修の「公共建築工事標準仕様書（建築工事編）（令和7年版）」（以下、「標準仕様書」という。）による。
- 改修標準仕様書及び標準仕様書のうち必要として特記する事項と、その他必要として特記する事項を特記事項とする。
- 特記仕様
(1) 項目は、印の付いたものを適用する。
(2) 特記事項は、印の付いたものを適用する。
(3) 特記事項に記載の〔 〕内表示番号は、改修標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(4) 特記事項に記載の（ ）内表示番号は、標準仕様書の当該項目、当該図又は当該表を示す。
(5) ㊦印は「国等による環境物品等の調達に関する法律」（以下「グリーン購入法」という）の特定調達品目を示す。
グリーン購入法による調達推進品目は「鹿児島県環境物品等調達方針」の環境物品等調達推進品目等一覧表及び別表1（鹿児島県の ホームページからダウンロード可能）による。
- 前金払
契約金額300万円以上の工事にあつては、契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の4を超えない範囲内に限り前払金の支払を請求することができる。
- 中間前金払又は部分払の選択
契約金額300万円以上の工事にあつては、契約に当たり中間前金払又は部分払を選択することができる。
- 中間前金払
契約金額（全体又は年度毎の出来高予定額）の10分の2を超えない範囲内に限り7の全ての要件を満たす場合に中間前払金の支払を請求することができる。
- 中間前金払の要件
(1) 工期の2分の1を経過していること。
(2) 工程表により工期の2分の1を経過するまでに実施すべきものとされている当該工事に係る作業が行われていること。
(3) 既に行われた当該工事に係る作業に要する経費が請負金額の2分の1以上の額に相当するものであること。
- 部分払
部分払の請求は2回以内で、前金払いがある場合でも2回とする。
- 火災保険
契約締結後速やかに火災保険に加入し、保険期間は工期後14日とする。
- 県産資材の優先使用
(1) 工事に使用する資材については、県内で産出、生産又は製造されたもの（以下、「県産資材」という。）の優先使用に努めることとし、さらに、県産資材以外の資材等についても、県内に本店を置く資材業者等から調達するよう努めることとする。
(2) 以下に記載する「指定主要資材」の中で県産資材を使用しない場合、「県産資材等不使用状況報告書」を監督職員に提出し、承諾を得なければならない。
《指定主要資材(7品目)【生コン(レディミクストコンクリート) コンクリート二次製品 石材類 アスファルト合材 木材 樹木 芝】》
(3) 前項の「県産資材等不使用状況報告書」において、第1項の資材業者等から調達しない場合は、その理由を記載すること。
(4) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「建設資材使用実績報告書」を監督職員に提出すること。

- 下請工事における管内（市内）建設業者の優先活用
(1) 工事の一部を下請けに付する場合は（伊佐市）管内に主たる営業所を有する者を活用するよう努めることとする。
(2) 前項で定めた建設業者を活用しない場合は、施工計画書の提出と併せて「下請工事における管内建設業者等不活用状況報告書」を監督職員に提出すること。
(3) 工事完成時及び監督職員から指示された場合、「下請業者使用実績報告書」を監督職員に提出すること。
- 配置技術者等の途中交代
(1) 配置技術者等の途中交代が認められる場合としては、主任技術者又は監理技術者の死亡、傷病、退職等、真にやむを得ない場合のほか、下記に該当する場合である。
受注者の責務によらない理由により工事中止又は工事内容の大幅な変更が発生し、工期が延長された場合
工場製作を含む工事であつて、工場から現地へ工事の現場が移行する時点
大規模な工事の一つの契約工期が多年に及び場合
(2) 上記(1)のいずれの場合であっても、受注者と発注者が協議し、工事の継続性、品質確保等に支障がないと認められる場合のみ途中交代が可能となる。
- 電子納品
(1) 本工事は、電子納品対象工事であり、電子納品とは、「調査、設計、工事などの各業務段階の最終成果を電子成果品として納品すること」をいう。
ここでいう電子納品とは、「鹿児島県電子納品ガイドライン（令和8年3月）」（以下「ガイドライン」という）に定める基準に基づいて作成した電子データを指す。
(2) ガイドラインに基づいて作成した電子成果品は電子媒体(CD-R)で正本1部、副本2部の計3部提出する。
電子化しない成果品については従来どおりの取扱いとする。
電子納品レベル及び成果品の電子化の範囲については、事前協議を行い決定するものとする。

- 電子成果品を提出する際は、鹿児島県の公開する電子納品チェックソフトによるチェックを行い、エラーが無いことを確認した後、ウイルス対策を実施した上で提出すること。
- CAD図面データの貸与について
本工事に関するCAD図面データ（BIMデータを含む）の貸与を希望する場合は、「CAD図面データ借用に係る誓約書」を県に提出すること。
なお貸与したCAD図面データは、本工事の履行に必要な施工図及び完成図の作成においてのみ使用することとし、それ以外の目的で使用してはならない。
また、当該CAD図面データは、完成図提出時までに、受注者において履行期限期間中に複製又は再配布しているもの全てを消去すること。
その他、誓約書の記載事項を遵守すること。
- 暴力団関係者による不当介入を受けた場合の措置
鹿児島県が発注する建設工事等（以下「県工事等」という）において、暴力団関係者による不当要求又は工事妨害（以下、「不当介入」という。）を受けた場合は、断固としてこれを拒否するとともに、その旨を遅滞なく県（発注者）及び警察に通報すること。
県工事等において、暴力団関係者による不当介入を受けたことにより工程に遅れが生じる等の被害が生じた場合は、県（発注者）と協議を行うこと。
- ダンプトラック等による過積載等の防止について
(1) 工用資機材等の積載超過のないようにすること。
(2) 過積載を行っている資材納入業者から、資材を購入しないこと。
(3) 資材等の過積載を防止するため、資材の購入等に当たっては、資材納入業者等の利益を不当に害することがないようにすること。
(4) さし枠の装着又は物品積載装置の不正改造をしたダンプカーが、工事現場に出入りすることがないようにすること。
(5) 「土砂等を運搬する大型自動車による交通事故の防止等に関する特別措置法」（以下、「法」という）の目的に鑑み、法第12条に規定する団体等の設立状況を踏まえ、同団体等への加入者の使用を促進すること。
(6) 下請契約の相手方又は資材納入業者を選定するに当たっては、交通安全に関する配慮に欠けるもの又は業務に関しダンプトラック等によって悪質かつ重大な事故を発生させたものを排除すること。
(7) (1)から(6)のことにつき、下請契約における受注者を指導すること。
- 施工体制台帳の作成等について
本工事の受注者は、建設工事の一部を下請けに付する場合は、施工体制台帳及び添付書類を作成し、工事現場に控え置くとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事の着手前までに）提出すること。
また、施工体制台帳の記載事項又は添付書類に変更があったときは、その都度、当該変更があった年月日を付記して、変更に関する事項について、作成し提出すること。
- 施工体系図の作成等について
本工事の受注者は、工事を施工するために、建設工事の一部又は以下のアからエの業務を下請けに付する場合は、施工体系図を作成し、工事の期間中、工事現場の工事関係者が見やすい場所及び公衆の見やすい場所に掲示するとともに、その写しを監督職員に遅滞なく（遅くとも下請工事又は業務の着手前までに）提出すること。
また、施工体系図の記載事項に変更があったときは、その都度、変更に関する事項について、作成し、提出すること。
ア 伐採及び測量・調査等の工事現場で作業を行う業務
イ 土砂やコンクリート般等の運搬のみを行う業務
ウ 工事現場の監理（交通誘導を含む）を行う業務
エ その他監督職員が記載を指示した業務等

章	項目	特記事項
1	○ 通用基準等	適用を受ける関係法令等を遵守すること ○ 建築工事標準詳細図(令和4年版) ○ 建築物解体工事共通仕様書(令和4年版) ○ 公共住宅建設工事標準仕様書(令和4年版) ○ 工事写真撮影ガイドブック(令和5年版)
	発生材の処理	[1.3.12] ○ 発注者に引き渡しを要するもの（○ 金属類 ○ PCB含有物） （○ ） 引き渡し場所 ○ 構内 ○ （○ ）
		特定建設資材の分別解体等及び再資源化等 本工事は、特定建設資材を用いた建築物等に係る解体工事又はその施工に特定建設資材を使用する新築工事等であつて、その規模が「建設工事に係る資材の再資源化等に関する法律」（平成12年5月31日法律第104号。以下「建設リサイクル法」という。）施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事に該当する場合は、建設リサイクル法に基づき分別解体等及び特定建設資材の再資源化等の実施について適切な措置を講ずる。また、建設リサイクル法施行令又は都道府県が条例で定める建設工事の規模に関する基準以上の工事に該当しない場合についても分別解体等及び特定建設資材の再資源化等については適切な措置を講ずる。 工事契約後に明らかになったやむをえない事情により、予定した条件により難しい場合は、監督職員と協議するものとする

1 各章共通事項（続き）

○ 品質計画

工程ごとの作業内容	工程	作業内容
	造成等	造形等の工事 ○ 有 ○ 無
基礎・基礎くい	基礎・基礎くい工事	○ 有 ○ 無
	上部構造部分・外装	上部構造部分・外装の工事 ○ 有 ○ 無
屋根	屋根の工事	○ 有 ○ 無
	建築設備・内装等	建築設備・内装等の工事 ○ 有 ○ 無
その他	その他の工事	○ 有 ○ 無

発生材の抑制、再利用及び再資源化並びに再生資源の積極的活用にも努める
なお、設計図書に定められた以外に、発生材の再資源化並びに再生資源の活用を行う場合は、監督職員と協議する

特定建設資材（再資源化）		
建設廃棄物の種類	施設名称	搬出距離
	処理施設の所在地	
コケラト塊	始建業(株) 伊佐市大口原田2270	6.1 km
○ アphalt・コケラト塊		km
○ 建設発生木材		km
○		km

特定建設資材以外			
建設廃棄物の種類	施設名称	搬出距離	処理方法
	処理施設の所在地		
○ 塵Pラフク類		km	○ 再資源化 ○ 最終処分
○ 防水Pphalt		km	○ ○ 最終処分
ガラスくず、陶磁器くず	株式会社 伊佐市大口原田1206-1外11庫	10.2 km	○ 再資源化 ○ 最終処分
ガラスくず、陶磁器くず (ｶﾞﾗｽﾞ類)	株式会社 さつま町山崎宮原4009番1	11.0 km	○ 再資源化 ○ 最終処分
○ 繊維くず		km	○ 再資源化 ○ 最終処分
○ 木くず		km	○ 再資源化 ○ 最終処分
非毒性石綿含有建材 (塵Pラフク類)	エコーワークかごしま 薩摩川内市川永野町字小泉多平6925番地10外28庫	56.0 km	○ 再資源化 ○ 最終処分
非毒性石綿含有建材 (ｸﾞﾗｽ、陶磁器くず類)	株式会社 都城市高城町四家字大間776番5外54庫	74.1 km	○ 再資源化 ○ 最終処分
○ 非毒性石綿含有建材 (汚泥)		km	○ 最終処分
○ 塵石こうｶﾞｰﾄﾞ		km	○ 再資源化 ○ 最終処分

上記に示す受入れ施設は参考であり、実施にあたっては関係法令を遵守し、適切な処理を行うものとする
なお、処分場の決定に当たっては監督職員と協議する

施工計画書で工法を定める場合の風圧力の計	
基準風速 (V0)	() m/s
地表面相度区分	○ ○ ○ ○ ○
○ 上記風圧力の1.3倍の風圧力に対する安全性を確保する	
○ 上記風圧力の1.15倍の風圧力に対する安全性を確保する	
適用工法	○ ALCL板(外壁、屋根) ○ 押出成形セメント板(外壁) ○ 外壁石張(乾式) ○ 外装材(外断熱工法) ○ 長尺金属板葺 ○ 折板葺 ○ Palt笠木 ○ ガラスPalt ○ シート防水(機械式) ○ 屋上緑化用Palt ○ ()

1 各章共通事項（続き）

○ 材料の品質等

○ 環境への配慮

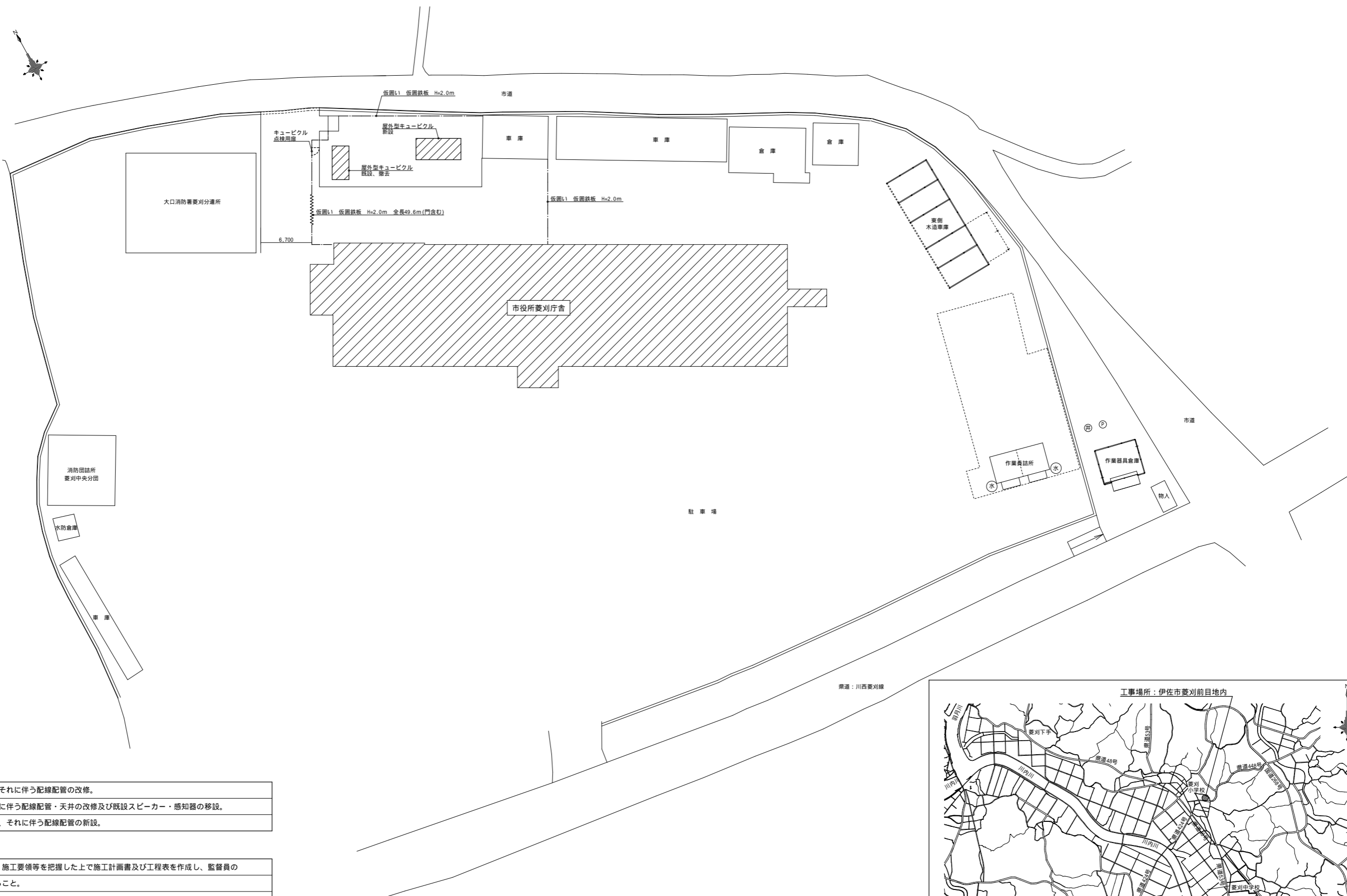
○ 化学物質の濃度測定

○ 特別な材料の工法

○ 施工調査

○ 設備工事との取り合い

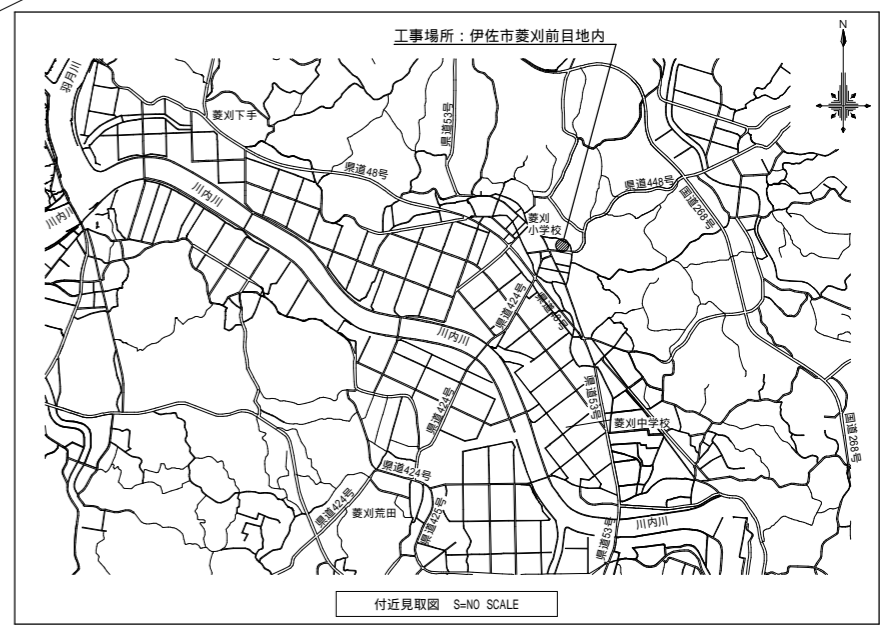
- [1.4.2]
同等以上の材料・機材等の使用
本工事に使用する材料・機材等は設計図書に定める品質及び性能と同等以上のものを使用する。
ただし、製造業者が記載されている場合に同等以上のものとする場合は、あらかじめ監督職員の承諾を受ける
- 材料・機材等の品質及び性能
本工事に於いて別表-2に示す材料を使用する場合の材料・機材等の製造業者等は次の(1)から(6)すべての事項を満たすものとし、この証明となる資料又は外部機関が発行する品質及び性能等が評価されたことを示す書面を提出して監督職員の承諾を受ける
(1)品質及び性能に関する試験データを整備していること
(2)生産施設及び品質の管理を適切に行っていること
(3)安定的な供給が可能であること
(4)法令等で定める許可、認可、認定又は免許を取得していること
(5)製造又は施工の実績があり、その信頼性があること
(6)販売、保守等の営業体制を整えていること
- 本工事の建築物内部に使用する材料等は、設計図書に規定する所要の品質及び性能を有すると共に、次の1)から4)を満たすものとする
1)合板、木質系Palt、構造用Palt、集成材、単板積層材、MDF、Palt、Palt、その他の木質建材、Palt、樹脂板、壁紙、接着剤、保温材、緩衝材、断熱材、塗料、仕上塗料は、Palt及びPalt及びPaltを発生しない又は発生量が極めて少ない材料で、設計図書を規定する「Paltの放散量」の区分に応じた材料を使用する
2)接着剤及び塗料はPalt、Palt及びPaltの含有量が少ない材料を使用する
3)接着剤は可塑剤(Palt、Palt及びPalt)-2-Ethanol等を含むし難揮発性の可塑剤を除く)が添加されていない材料を使用する
4)1)の材料を使用して作られた家具、書架、実験台、その他の什器等は、Palt、Palt及びPaltを発生しないが、発生量が極めて少ない材料を使用したものとする
また、設計図書に規定する「Paltの放散量」は、次の通りとする（規制対象外）
建築基準法施行令第20条の7第1項に定める
第一種、第二種及び第三種Paltの発散建築材料以外の材料
建築基準法施行令第20条の7第4項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
第三種品
建築基準法施行令第20条の7第1項に定める第三種ホルムアルデヒド発散建築材料
建築基準法施行令第20条の7第3項の規定により国土交通大臣の認定を受けた材料
Palt含有建材
本工事に使用する材料については、Paltを含有しないものとする
- [1.7.10]
1) 施工完了後、引渡前に室内空気中のPalt、Palt、Palt、Palt(学校施設については、Paltを加えた6物質)の濃度を測定し、測定結果を監督職員に報告する。
2) 測定対象室及び測定箇所数は仕上表による。
着工前の測定
○ 行う ○ 行わない
3) 測定は、Palt型採取機器により行う。
注) 測定PaltはPalt用とPalt、Palt、Palt、Palt用2種類を用いる
- 改修標準仕様書及び標準仕様書に記載されていない特別な材料の工法は、当該製品の指定工法による
- [1.6.2.3]
施工数量調査
調査項目 ○ 防水改修 ○ 外壁改修 ○ ()
調査範囲 ○ 図示 ○ ()
調査方法 ○ 打診及び目視による ○ ()
既存部分の破壊を行った場合の補修方法 ○ 図示
- 施工範囲 図面に特記なき場合は、別表-1による
施工図 設備機器の設置、取り合い等が検討のできる施工図を提出し監督職員の承諾を受ける



工事概要
受変電、非常用発電設備の改修及びそれに伴う配線配管の改修。
照明器具をLED器具に改修、それに伴う配線配管・天井の改修及び既設スピーカー・感知器の移設。
非常用発電回路のコンセントの新設、それに伴う配線配管の新設。

特記事項
1. 本工事着手前に現地確認を行い、施工要領等を把握した上で施工計画書及び工程表を作成し、監督員の承諾を得た後に、工事に着手すること。
2. 工事に際しては施設の運用等に支障が無いよう関係者及び監督員と十分打合せをすること。
3. 工事期間中は粉塵等の発生にも充分留意し、養生を確実にし、作業すると共に作業後は清掃を行うこと。
4. 既設建物及び機器等へ損傷を与えた場合は請負者の負担において原形復旧すること。
5. 外部で使用する配管支持材等はステンレス製又は溶融亜鉛メッキ製を原則とする。
6. コア抜き部は鉄筋探査を行うこと。

配置図 S=1/250 工事対象建物を示す。

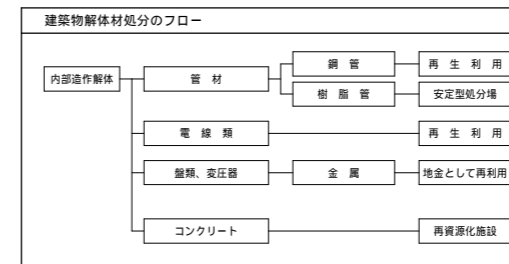


凡例表

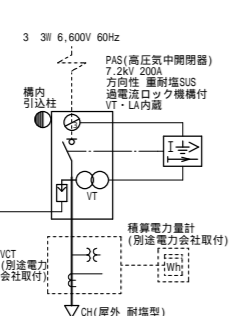
記号	名称	仕様	備考	記号	名称	仕様	備考
○	構内引込柱	構内引込柱参照参照		⚡LH	接地工事	A種(避雷器用)アース棒式 標示板取付	
⚡	動力分電盤	盤結線参照参照	既設のまま	⚡EA, ED	接地工事	A, D種(共用)アース棒式 標示板取付	
⚡	電灯動力分電盤	盤結線参照参照		⚡EB	接地工事	B種 アース棒式 標示板取付	
⚡	電灯分電盤	盤結線参照参照		⚡ELB	接地工事	D種(ELB)アース棒式 標示板取付	
⚡	無停電電源装置	入力、出力電圧: AC100V 3.0kVA	既設のまま	⚡Eo	接地工事	測定用 アース棒式	
☒	手元開閉器箱	盤結線参照参照	撤去	☒	プルボックス	プルボックスリスト参照	
☒	消火器収容箱	屋外壁掛型 10号消火器1個収容	新設 消火器は既設流用又は別途	☒	アウトレットボックス	中四角 浅型 樹脂製	
☒	スコットランス	210V/210-105V 20kVA、基礎500×500×H150	撤去(基礎共)	☒cp	カバープレート	角形 金属製	
☒	照明器具	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒cp2	カバープレート	角形 金属製 4-6個用	
☒	照明器具	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒cpC	カバープレート	丸形 金属製	
☒	照明器具	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒cpJA	メタルモール用ジャンクションボックス	A型	
☒	照明器具	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒S1	露出スイッチボックス	金属製 1個用 2方出	
○	照明器具	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒s1	露出ボックス	丸形 金属製 1方出	
●	非常照明	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒C1J	露出ボックス	丸形 樹脂製 1方出	
☒	非常照明	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒C2J	露出ボックス	丸形 樹脂製 2方出	
☒	非常照明	参考資図参照	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	金属ダクト	金属ダクトリスト参照	
☒	誘導灯	参考資図参照		☒	ブロックマンホール	ブロックマンホールリスト参照	
●	埋込スイッチ	大角適用 1P15A×1 ステンレスプレート		☒	地中埋設柱	コンクリート製	
○ ₃	埋込スイッチ	大角適用 3H15A×1	既設のまま	○	地中埋設柱	キャッツアイ	
○ ₄	埋込スイッチ	大角適用 4H15A×1	既設のまま	—	地中埋設標示板	黄銅製	
○	埋込パイロットランプ	大角適用	既設のまま				
○ _{4B}	自動点滅器	AC100V 3A	既設のまま	⚡	放送アンプ	卓上型 120W 5周+一斉	既設
☒	電源ユニット	参考資図参照		⚡	スピーカー	天井埋込型 3W 埋込寸法 200	既設、取外し再取付(移設)
☒	リモコンスイッチ	埋込型 ワンショットリモコン×6	撤去	☒	アッチネーター	埋込型 1W	既設
				☒ ₂	アッチネーター	埋込型 2W	既設
○ ₂	埋込コンセント	大角適用 2P15A×2 ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	複合盤	P型1級 10L+防接塵SL	既設
○ _E	埋込コンセント	大角適用 接地2P15A×1(1E) ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	複合盤	P型1級 埋込構型	既設
○ _{2E}	埋込コンセント	大角適用 接地2P15A×2(2E) ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	差動式スポット型 感知器	2種 露出型	既設、取外し再取付(移設)
○ _{ET}	埋込コンセント	大角適用 2P15A×1+ET(1ET) ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	警報区域番号		
○ _{2ET}	埋込コンセント	大角適用 2P15A2×+ET(2ET) ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	天井点検口		既設
○ _{EET}	埋込コンセント	大角適用 接地2P15A×1+ET(1EET) ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	天井点検口	450×450 一般タイプ アルミ製 内外枠共 開口補強共	新設(本工程)
○ _{2EET}	埋込コンセント	大角適用 接地2P15A×2+ET(2EET) ステンレスプレート	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	ポンプ	3 3W 200V	既設
☒ _{BP}	埋込防水コンセント	接地2P15A×2+ET(2ET) 抜止	既設のまま	☒	モーター	3 3W 200V	既設
☒ _{30A}	埋込コンセント	大角適用 AC200V 接地3P20A×1 ステンレスプレート	撤去、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	電源切替開閉器	屋内壁掛型 防災無線用、開閉器として使用	既設のまま
☒ _{30A}	埋込コンセント	大角適用 AC200V 接地3P20A×1 ステンレスプレート	撤去、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	変圧器	耐雷トランス5kVA 防災無線用	既設のまま
○ ₂	露出コンセント	2P15A×2	撤去	☒	有圧換気扇	換気設備機器表参照	
○ _{2ET}	露出コンセント	2P15A×2+ET(2ET)	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	温度センサースイッチ	露出型 AC200V 自動/切/連続切換	
☒ ₂	埋込コンセント	床面取付(アップコンセント) 2P15A×2	既設のまま、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	天井内コロガシ	
☒ ₃	埋込コンセント	床面取付(アップコンセント) 2P15A×3	既設のまま	☒	配線・配管	隠蔽	
☒ _{2E}	埋込コンセント(赤色)	大角適用 接地2P15A×2(2E) ステンレスプレート (別印付: 盤名称及び回路番号) メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	隠蔽(床下)	
☒ _{4E}	埋込コンセント(赤色)	大角適用 接地2P15A×4(4E) ステンレスプレート (別印付: 盤名称及び回路番号) メタルモールスイッチボックス共(A型2個用)	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	露出	
☒ _{4EET}	埋込コンセント(赤色)	大角適用 接地2P15A×1+ET(1ET) ステンレスプレート (別印付: 盤名称及び回路番号) メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	土中	
☒ ₂	埋込コンセント	大角適用 2P15A×1 ステンレスプレート メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	既設のまま、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	架空	電力、器電引込
☒ _{2E}	埋込コンセント	大角適用 接地2P15A×2(2E) ステンレスプレート メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	撤去、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配管	異種管接続材	
☒ _{4E}	埋込コンセント	大角適用 接地2P15A×4(4E) ステンレスプレート メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	既設のまま、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配管	配管突出し	
☒ _{ET}	埋込コンセント	大角適用 2P15A×1+ET(1ET) ステンレスプレート メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	撤去、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	コア抜き	コア抜き、防火区画貫通処理仕様表参照	
☒ _{2ELK}	埋込コンセント	大角適用 接地3P15A×2抜止(2ELK) ステンレスプレート メタルモールスイッチボックス共(A型1個用)	撤去、ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	立上り	
☒ _{15A2}	埋込コンセント	大角適用 AC200V 接地3P15A×1 ステンレスプレート 露出スイッチボックス共(金属製1個用1方出)	ハッチングは非常発電回路を示す	☒	配線・配管	立下り	

石綿含有建材に係る石綿飛散防止対策について

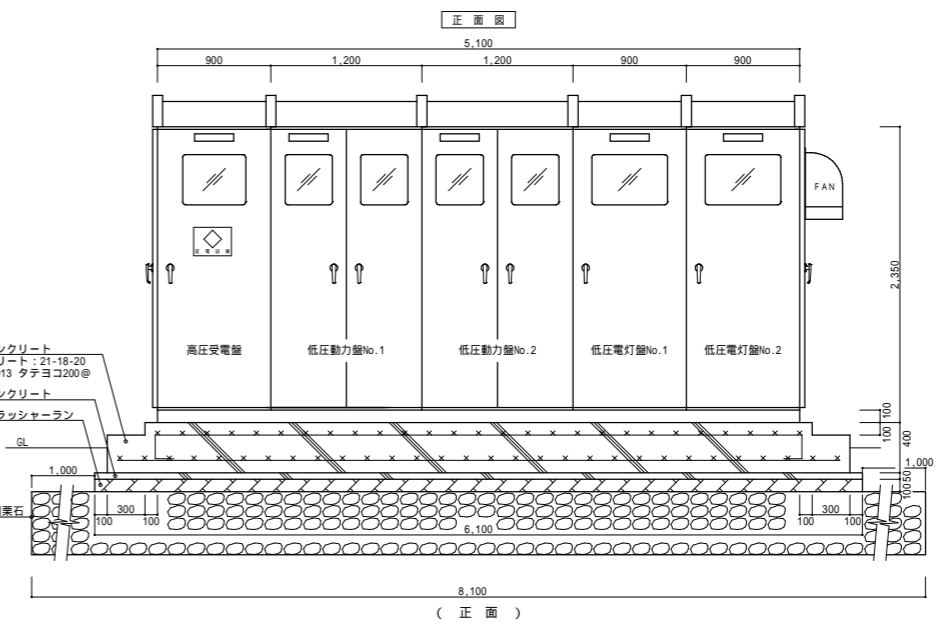
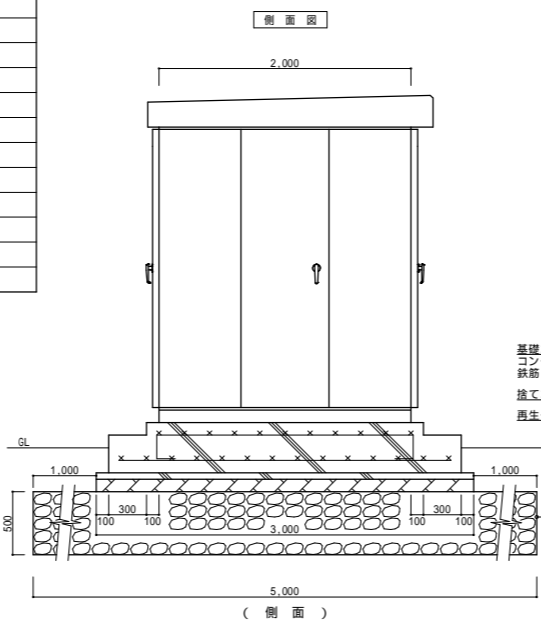
- 大気汚染防止法、廃棄物処理法、労働安全衛生法、石綿障害予防規則、その他石綿処理に関する諸法令等に基づき、石綿含有建材に係る調査及び施工を行うこと。
- 石綿含有建材の調査について
 - 調査範囲は原則として施工範囲の各施工部位とする。
 - 例) 配管・配線を固定・貫通する内壁・外壁の部分
 - その他施工に伴い撤去・改修を行う部分
- 調査は目視・既存図面・発注者から提供される資料等により行うこと。
- 調査結果を取りまとめ、監督職員に提出するとともに現場に備え付けること。
- 調査の結果、検体分析が必要になった場合は、その対応について監督職員と協議すること。
- 協議の結果必要と認められれば、契約書に基づき検体分析及び石綿飛散防止対策に関する設計変更を行う場合がある。
- 必要に応じ、関連する施工業者と対策について、協議・調整を行うこと。



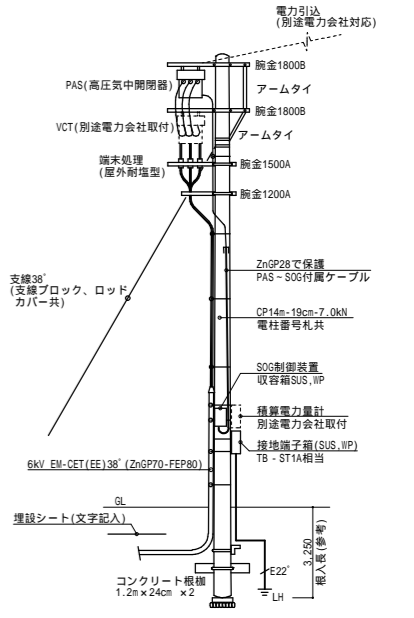
- 注記
1. 屋外型キュービクル5面体(鋼板製、耐塩塗装仕上)とする。
 2. キュービクルには「高圧危険」、「受電設備」の表示をすること。
 3. 基礎工事は本工事とする。
 4. 変圧器は、「トランスナー変圧器」とする。
 5. ブレーカは遮断容量を満足する製品とする。



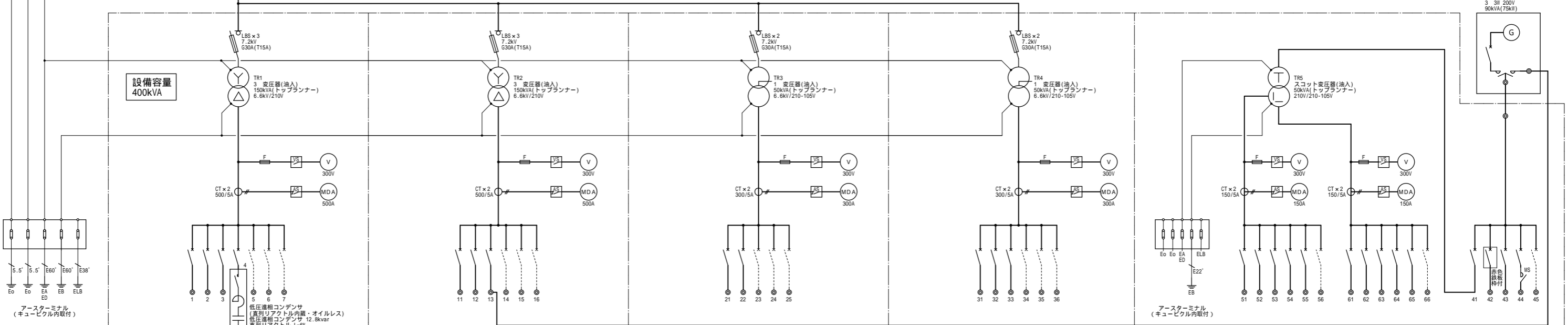
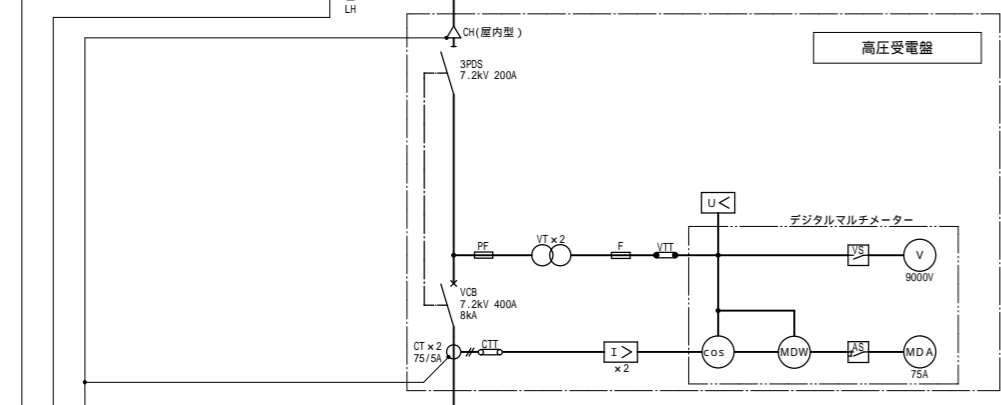
記号	名称	記号	名称
	地絡過電流継電器		計器用変圧器
	VCT(計器用変圧変流器) (別途電力会社取付)		計器用変流器
	電力計		試験用電圧端子
	電流計		試験用電流端子
	最大電流計		過電流継電器(静止型)
	最大電力量計		電圧計切替スイッチ
	力率計		電圧計切替スイッチ
	力率計		高圧気中開閉器
	ヒューズ		3PDS
	真空遮断器		真空遮断器



屋外型キュービクル参考図 S=1/30



構内引込柱参考図 S=NO SCALE



設備容量
400kVA

No	開閉器	負荷名称	負荷容量 (kVA)
1	MCCB 3P 400AF/250AT	M-1	43.1
2	MCCB 3P 400AF/300AT	M-2	47.0
3	MCCB 3P 50AF/ 30AT	電算室空調室外機	2.5
4	MCCB 3P 50AF/ 50AT	低圧連相コンデンサ	
5	MCCB 3P 225AF	スペース	
6	MCCB 3P 100AF	スペース	
7	MCCB 3P 50AF	スペース	
合計			92.6

No	開閉器	負荷名称	負荷容量 (kVA)
11	MCCB 3P 225AF/200AT	M-3	36.7
12	MCCB 3P 50AF/ 50AT	P-1B, P-3	12.7
13	MCCB 3P 300AF/250AT	非常電灯動力盤	56.8
14	MCCB 3P 225AF	スペース	
15	MCCB 3P 100AF	スペース	
16	MCCB 3P 50AF	スペース	
合計			105.4

No	開閉器	負荷名称	負荷容量 (kVA)
21	MCCB 3P 225AF/225AT	L-1A, L-1B	29.7
22	MCCB 3P 225AF/225AT	L-2A, L-2B	30.4
23	MCCB 3P 225AF	スペース	
24	MCCB 3P 100AF	スペース	
25	MCCB 3P 50AF	スペース	
合計			60.1

No	開閉器	負荷名称	負荷容量 (kVA)
31	MCCB 3P 225AF/225AT	L-3A, L-3B, L-3C	20.8
32	MCCB 2P 50AF/ 20AT	所内電源1 (監視、換気扇、コンセント)	
33	MCCB 2P 50AF/ 20AT	所内電源2 (保守用コンセント)	
34	MCCB 3P 225AF	スペース	
35	MCCB 3P 100AF	スペース	
36	MCCB 3P 50AF	スペース	
合計			20.8

非常電灯動力盤			
No	開閉器	負荷名称	負荷容量 (kVA)
41	MCCB 3P 225AF/200AT	スコットトランス	50.0
42	MCCB 3P 100AF/ 75AT	P-1A(消火ポンプ)	5.5
43	ELCB 3P 50AF/ 15AT	1階機械室 排気ファン	0.5
44	ELCB 3P 50AF/ 15AT	1階機械室 有圧換気扇(給気)	0.8
45	MCCB 3P 100AF	スペース	
合計			56.8
51	MCCB 3P 100AF/ 60AT	LG-1	8.5
52	MCCB 2P 50AF/ 50AT	L-2A, L-2B	1.3
53	MCCB 3P 100AF/ 75AT	電算機盤	3.6
54	MCCB 2P 50AF/ 40AT	2階電算室 無停電電源装置	1.4
55	MCCB 2P 50AF/ 40AT	防災無線用耐雷変圧器	1.0
56	MCCB 2P 50AF	スペース	
61	MCCB 3P 100AF/ 75AT	LG-2, LG-3	10.3
62	MCCB 2P 50AF/ 50AT	L-1A, L-1B	3.3
63	MCCB 2P 50AF/ 30AT	L-1B(G3系統)	0.5
64	MCCB 2P 100AF/ 75AT	電算機盤	3.0
65	MCCB 2P 50AF/ 20AT	所内電源 (照明、保守用コンセント)	
66	MCCB 2P 50AF	スペース	
合計			17.1

(1) 温度センサー制御とすること。
(2) 非常用発電機自動運転(自動切替スイッチ)とし、運転・漏電表示とすること。

高圧単線結線図

 〒890-0061 鹿児島市天保山町4-6 第2号英社ビル201号 TEL (099) 298-5750 FAX (099) 298-5751	検印 検出 担当 製図 	業務名称 鹿児島市電気設備・高圧受電設備等改修工事 日付 令和7年12月	図面番号 6 / 40
	図面名称 高圧単線結線図、屋外型キュービクル参考図、構内引込柱参考図 縮尺 S=1/30		

要目表

機種名称		AP95C-T (屋内)	
発電機	形式	横軸回転界磁形同期発電機	
	容量	90kVA	
		72kW	
	電圧	220V	
	電流	237A	
	周波数	60Hz	
	回転速度	1800min ⁻¹	
	相数	3相3線	
	極数	4極	
	力率	80%	
励磁方法	ブラシレス		
耐熱クラス	発電機	電機子: 155 (F) 界磁: 180 (H)	
	励磁機	電機子: 155 (F) 界磁: 155 (F)	
保護方式	保護形 (IP20)		
冷却方式	IC01 (自由通流形)		
充電方式	半導体式全自動充電		
キュービクル	騒音値	現地施工後の実測値による 目標値(参考): 85dB以下	乾燥質量
	塗装色	5Y7/1 半ツヤ	装備質量
			認定
			(一社) 日本内燃力発電設備協会

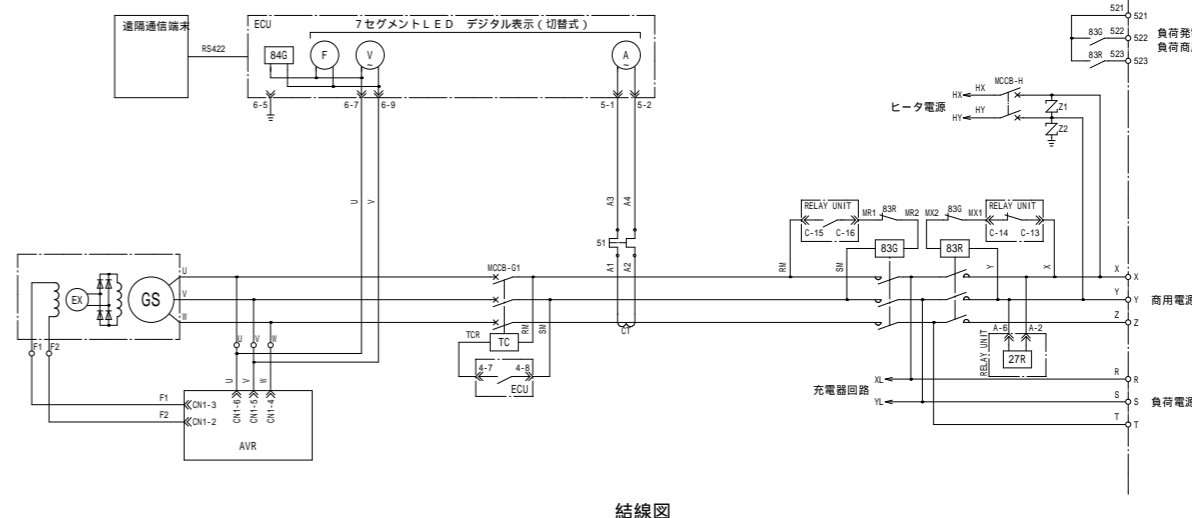
遠隔通信項目

項目	項目
運転可能 / 運転中	運転可能時間
自動 / 試験	発電出力
遠方 / 手元	発電電圧
発電 / 商用	発電電流
始動	燃料残油量
充電中	バッテリー電圧
停止	パッケージ内部温度
故障	積算運転時間
	保守運転日
	回転速度

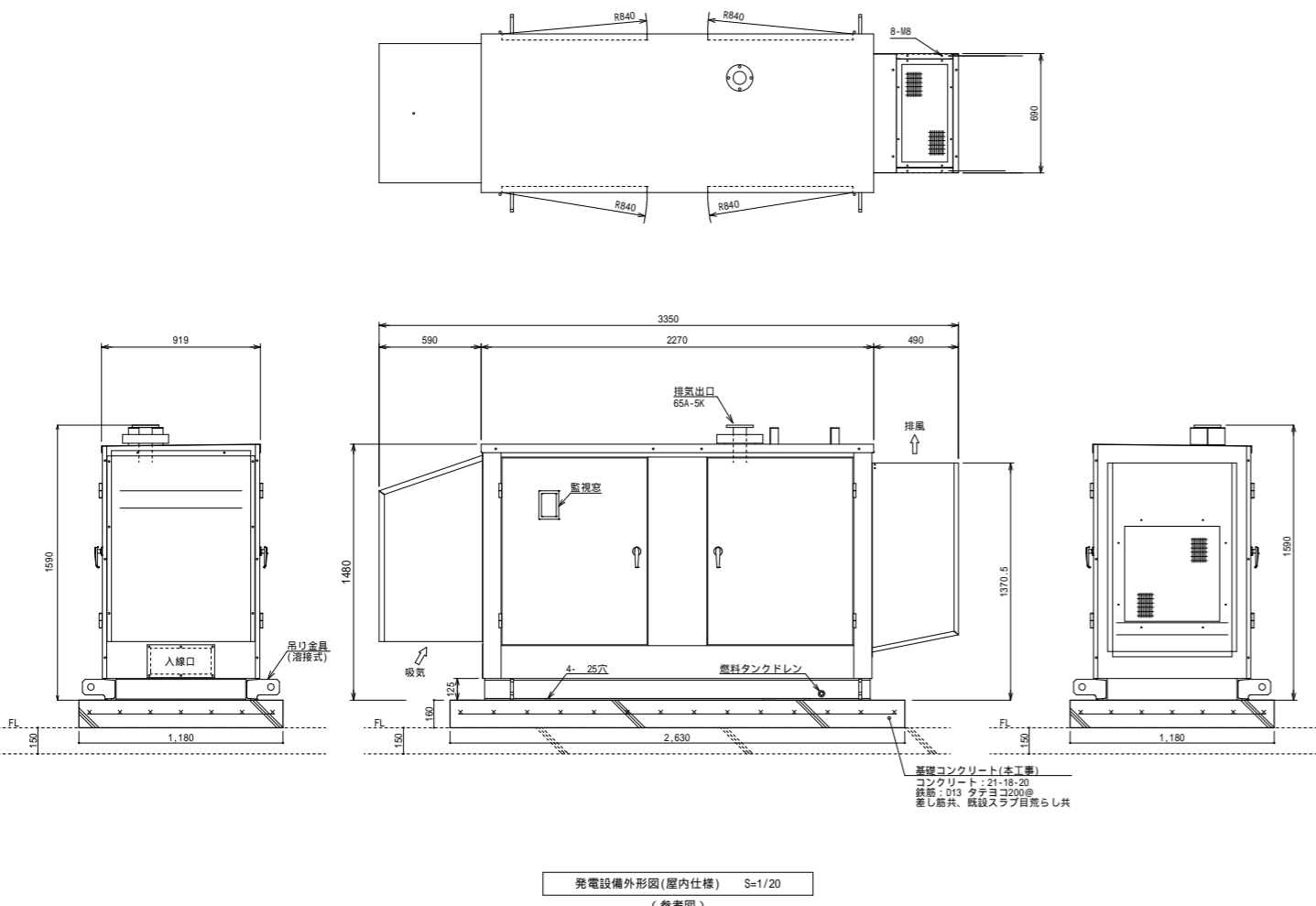
メーカーによる遠隔通信端末を装備するものとする。
 ・「遠隔通信項目」をWeb閲覧する場合は、ユーザー登録を必要とする。
 ・ユーザー登録すると24時間365日、メーカー窓口での受付を可能とする。
 ・メーカーによる遠隔監視が必要な場合は、別途有償契約とする。
 設置場所の通信状況によっては別途延長配線が必要、または通信できない場合がある。
 遠隔通信項目の項目名称は参考とする。
 別置タンクの燃料残油量表示はオプションとし、別途協議で決定する。

保護装置一覧表

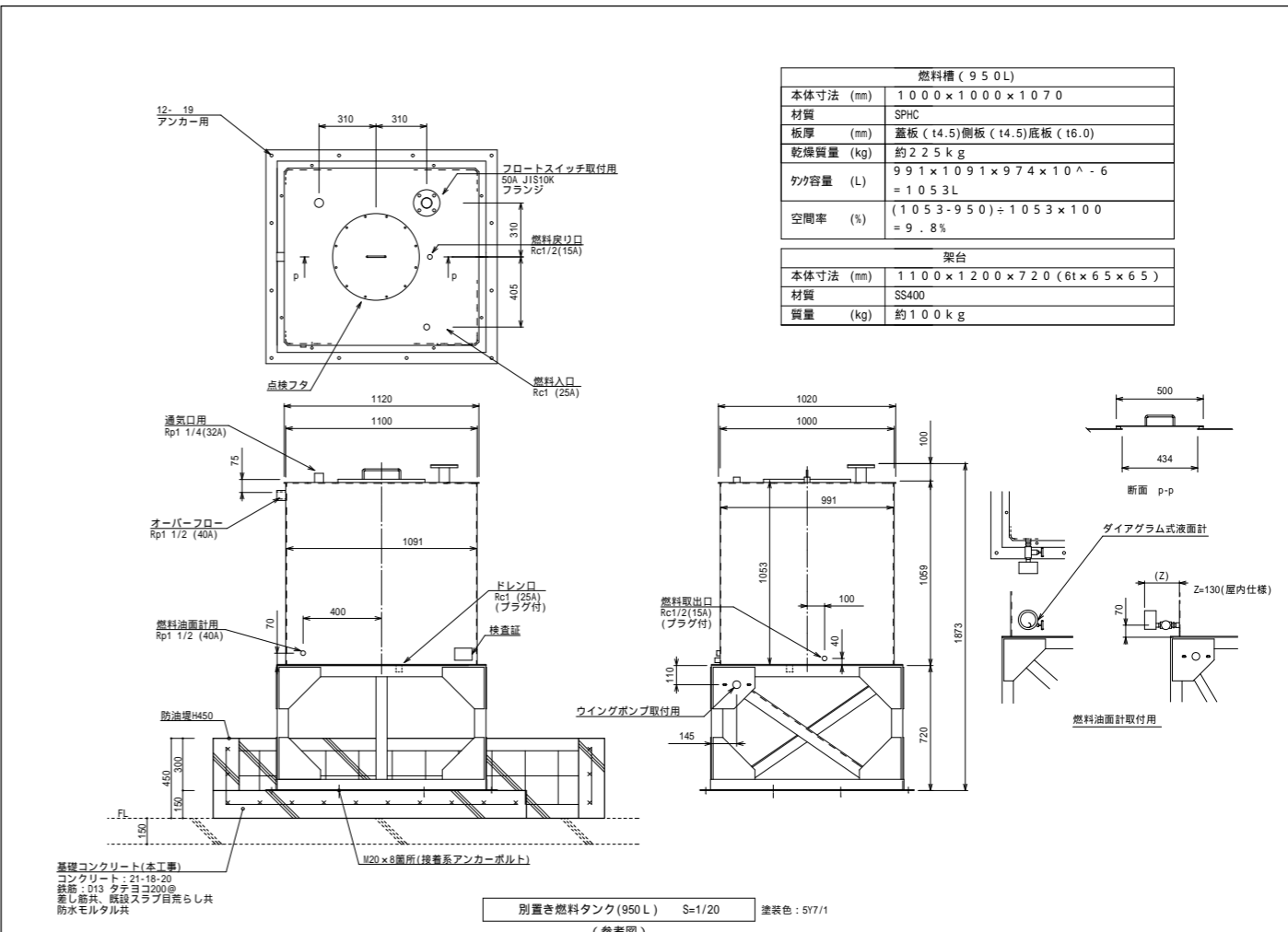
項目	デバイス	警報表示灯	警報	機関自動停止	主回路遮断	外部信号
潤滑油圧低下	63Q	○	○	○	○	○(一括)
冷却水温度上昇	26W	○	○	○	○	
過回転(過速度)	12	○	○	○	○	
始動渋滞	48T	○	○	○	○	
過電流	51	○	○	×	○	
緊急停止	5E	○	○	○	○	



結線図



発電設備外形図(屋内仕様) S=1/20 (参考図)



燃料槽 (950L)	
本体寸法 (mm)	1000 × 1000 × 1070
材質	SPHC
板厚 (mm)	蓋板 (14.5) 側板 (14.5) 底板 (16.0)
乾燥質量 (kg)	約 225 kg
容量 (L)	991 × 1091 × 974 × 10 ⁻⁶ = 1053 L
空率 (%)	(1053 - 950) ÷ 1053 × 100 = 9.8%

架台	
本体寸法 (mm)	1100 × 1200 × 720 (6t × 6.5 × 6.5)
材質	SS400
質量 (kg)	約 100 kg

別置き燃料タンク(950L) S=1/20 塗装色: 5Y7/1 (参考図)

自家発電設備出力計算書

特性等	
(1)	対象負荷機器 様式-2 のとおり
(2)	発電機 特性 KG3 = 1.500 KG4 = 0.150 xd'g = 0.250 E = 0.250 g = 0.855
(3)	原動機 特性 = 0.900 = 1.100 a = 0.225
(4)	負荷機器 **D = 1.000 **d = 1.000

自家発電設備			
(1)	種 類		
(2)	形式番号		
(3)	発電機出力 定格出力 90.0 kVA 定格電圧 220 V 定格力率 0.800	極 数 4 極 定格周波数 60 Hz 定格回転速度 1,800 min ⁻¹	
(4)	原動機出力 原動機の種別 ディーゼル機関(長時間形) 定格出力 107.0 kW { 145.5 PS} 使用燃料 軽油 定格回転速度 1,800 min ⁻¹		
(5)	整合比 1.270		

** : 1.000未満の場合は、消防設備出力算定には使用できません。

自家発電設備出力計算シート(負荷表)																		
番号	グループ	負荷機器名称	消防設備	記号	台数	換算入出力 kVA	出力 mi (kW)	始動制御方式	単相負荷 (kW)			需要率 di	分負荷相当出力 Mp (kW)	M2の選定 <A>	M3の選定 	M'2の選定 <C>	M'3の選定 <D>	
									R-S	S-T	T-R							
1	単	消火ポンプ	F-L	MLT	1	5.50	5.50	L	0.00	0.00	0.00	--	5.50	45.83	38.95	18.77	16.78	
2	単	スコットトランス		P1	1	50.00	50.00		16.67	16.67	16.67	--	50.00	50.00	-28.36	10.47	-8.56	
3	単	1階機械室 排気ファン		MLO	1	0.45	0.45	L	0.00	0.00	0.00	--	0.45	3.21	2.64	1.91	1.75	
4	単	有圧換気扇 給気用		MLT	1	0.75	0.75	L	0.00	0.00	0.00	--	0.75	6.25	5.30	3.19	2.91	
算 出						負荷出力合計値 K = 56.70												
									16.67	16.67	16.67							
									最大値: A = 16.67									
									次の値: B = 16.67									
									最小値: C = 16.67									
									選定	<A>の値が最大となる mi=M2= 50.00	の値が最大となる mi=M3= 5.50	<C>の値が最大となる mi=M'2= 5.50	<D>の値が最大となる mi=M'3= 5.50					

<A> := ks / Z'm x mi := {ks / Z'm-d / (b x cos b)} x mi <C> := {ks / Z'm x cos s - (-a) x d / b} x mi <D> := {ks / Z'm x cos s-d / b} x mi (ただしエレベーター負荷のときは、各式にUv/nを掛けた値とする。) グループ欄が"単"の場合は、単機での始動を示す。

自家発電設備出力計算シート(発電機)			
RG1		$= \frac{1}{L} \times D \times Sf \times \frac{1}{\cos g} = \frac{1}{0.894} \times 1.000 \times 1.000 \times \frac{1}{0.800} = 1.398$ $P = A + B - 2C = 16.67 + 16.67 - 2 \times 16.67 = 0.00$ $u = \frac{(A - C)}{P} = \frac{(16.67 - 16.67)}{0.00} = 1.000$ $Sf = \sqrt{1 + \frac{P}{K} + \left(\frac{P}{K}\right)^2} \times (1 - 3u + 3u^2)$ $= \sqrt{1 + \frac{0.00}{56.70} + \left(\frac{0.00}{56.70}\right)^2} \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2) = 1.000$	定常負荷出力係数 RG1 1.398
RG2	エレベーター 無(0)	$= \left(\frac{1 - E}{E}\right) \times xd'g \times \frac{ks}{Z'm} \times \frac{M2}{K}$ $= \left(\frac{1 - 0.250}{0.250}\right) \times 0.250 \times \frac{1.000}{1.000} \times \frac{50.00}{56.70} = 0.662$	許容電圧降下出力係数 RG2 0.662
RG3		$= \frac{fv1}{KG3} \times \left\{ \frac{d}{b \times \cos b} \times \left(1 - \frac{M3}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \frac{M3}{K} \right\}$ $= \frac{1.000}{1.500} \times \left\{ \frac{1.000}{0.896 \times 0.892} \times \left(1 - \frac{5.50}{56.70}\right) + \frac{1.000}{0.120} \times \frac{5.50}{56.70} \right\}$ $= 1.292$	短時間過電流耐力出力係数 RG3 1.292
RG4		$= \frac{1}{K} \times \frac{1}{KG4} \times \sqrt{(H - RAF)^2 + \left(\frac{Ai}{i \times \cos i} + \frac{Bi}{i \times \cos i} - 2 \times \frac{Ci}{i \times \cos i}\right)^2 \times (1 - 3u + 3u^2)}$ $H = hb \times \sqrt{\left(\frac{R6i \times hki}{i \times \cos i}\right)^2 + \left(\frac{R3i \times hki}{i \times \cos i}\right)^2 \times hph^2}$ $= \frac{1}{56.70} \times \frac{1}{0.150} \times \sqrt{(0.00 - 0.00)^2 + (0.00)^2 \times (1 - 3 \times 1.000 + 3 \times 1.000^2)}$ $= 0.000$	許容逆相電流出力係数 RG4 0.000
RG		= RG < 1 > = 1.398 RG1, RG2, RG3, RG4のうち最大値	1.398
発電機計算出力 G'		G' = RG x K = 1.398 x 56.70 = 79.26 (kVA)	発電機定格出力 G G = 90.0

備考: GはG'の値の95%以上の値とする。

自家発電設備出力計算シート(原動機、整合)			
RE1		$= \left(\frac{1}{L}\right) \times D \times \left(\frac{1}{g}\right) = \left(\frac{1}{0.894}\right) \times 1.000 \times \left(\frac{1}{0.855}\right) = 1.308$	定常負荷出力係数 RE1 1.308
RE2		$= \frac{1}{0.900} \times \frac{fv2}{g} \times \left\{ (-a) \times \frac{d}{b} \times \left(1 - \frac{M'2}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos s \times \frac{M'2}{K} \right\}$ $= \frac{1}{0.900} \times \frac{1.000}{0.812} \times \left\{ (0.900 - 0.225) \times \frac{1.000}{0.896} \times \left(1 - \frac{5.50}{56.70}\right) + \frac{1.000}{0.120} \times 0.500 \times \frac{5.50}{56.70} \right\}$ $= 1.484$	許容回転速度変動出力係数 RE2 1.484
RE3		$= \frac{1}{1.100} \times \frac{fv3}{g} \times \left\{ \frac{d}{b} \times \left(1 - \frac{M'3}{K}\right) + \frac{ks}{Z'm} \times \cos s \times \frac{M'3}{K} \right\}$ $= \frac{1}{1.100} \times \frac{1.000}{0.812} \times \left\{ \frac{1.000}{0.896} \times \left(1 - \frac{5.50}{56.70}\right) + \frac{1.000}{0.120} \times 0.500 \times \frac{5.50}{56.70} \right\}$ $= 1.581$	許容最大出力係数 RE3 1.581
RE		= RE < 3 > = 1.581 RE1, RE2, RE3のうち最大値	RE 1.581
原動機計算出力 E'		E' = RE x K = 1.581 x 56.70 = 89.62 (kW)	
整合		MR' = $\frac{E'}{G \times \cos g} \times g = \frac{89.62}{90.0 \times 0.800} \times 0.855 = 1.064$	
原動機定格出力 E		MR' = 1.064 E* = 89.62 (kW)	E = 107.0 (kW)

自家発電設備の出力	G = 90.0 (kVA) 力率 = 0.800	E = 107.0 (kW) 145.5 (PS) ディーゼル機関(長時間形)
-----------	---------------------------	--

備考: EはE'又はE*の値以上の値とする。

盤結線図 既設、改修

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器	名称	改修前		改修後		備考		
			200	100	MCCB	ELCB			P・AF/AT	容量(VA)(k)	容量(VA)(k)	R-T(R-S-T) R-N T-N		R-T(R-S-T) R-N T-N	
L-2A (2階 廊下) 屋内埋込型 銅板		A	○	○	○	○	3・100/100	L-2Bへ	14513	10734					
			○	○	○	○	2・50/20	非常照明	440	60					
			○	○	○	○	2・50/20	震度情報電源		100	100				
			○	○	○	○	2・50/30	コンセント コピー機用	1000	1000					
			○	○	○	○	2・50/20	予備							
			○	○	○	○	2・50/20	建設課中央監視装置		200	200	(E) (番号無しの為 改修)			
			○	○	○	○	2・50/20	商工観光課	200	200	(F) (番号無しの為 改修)				
			○	○	○	○	2・50/20	総務課		400	400	(G) (番号無しの為 改修)			
			○	○	○	○	3・75/75	電算機電源 予備	回路名称変更	3600		(H) (番号無しの為 改修)			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 事務室	1200		540				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 事務室		840	540				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 事務室	1020		540				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 町長・応接室		1440	624				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 助役・印刷室		1440	711				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 通路		600	155				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 町長・助役室		1350	1350				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 町長・助役室		600	600				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 印刷・湯沸室		750	750				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室		750	750				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室		1050	1050				
○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室		1050	1050							
○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室		750	750							
○	○	○	○	1・50/20	コンセント コピー機用		1000	1000							
○	○	○	○	1・50/20	コンセント コピー機用		1000	1000							
○	○	○	○	1・50/20	コンセント コピー機用		1000	1000							
○	○	○	○	1・50/20	コンセント コピー機用		1000	1000							
○	○	○	○	1・50/20	アンプ		300	300							
○	○	○	○	1・50/20	サイレン		1000	1000							
○	○	○	○	1・50/20	四段表示システム電源		100	100							
○	○	○	○	1・50/20	放送室クーラー電源 2次側負荷無し、不使用										
○	○	○	○	1・50/20	西階段室 コピー電源		1000	1000							
○	○	○	○	1・50/20	サイレン操作盤		100	100							
○	○	○	○	1・50/20	リモコン操作盤		100	100							
○	○	○	○	2・50/20	室内機電源		438	438							
○	○	○	○	2・50/20	室内機電源		730	730							
○	○	○	○	2・50/20	電算室放送室クーラー		500	500							
								10660	8780	8791	7219	(R-N, T-N 合計)			
								1668	1668			(R-T 合計)			
								21108	17678			(合計)			
								41561	30372			(合計) 主幹一次側も含む			
L-2Aより AC1 3Φ 210-105V (改修前)	MCCB 3P 100AF/100AT 中性線欠相 保護付 (改修前)	↓	ELCB 3P 100AF/100AT 中性線欠相 保護付 (改修後)	○	○	○	○	1・50/20	電灯 事務室	660	564				
				○	○	○	○	2・50/20	コンセント 無線用	100	100				
				○	○	○	○	2・50/20	電話交換機、FAX用コンセント	300	300				
				○	○	○	○	2・50/20	L-2Bへ	180	298				
				○	○	○	○	2・50/20	コンセント 行政無線						
				○	○	○	○	2・50/20	行政無線用						
								1240	1262			(合計)			

盤結線図 既設、改修

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器	名称	改修前		改修後		備考	
			200	100	MCCB	ELCB			P・AF/AT	容量(VA)(k)	容量(VA)(k)	R-T(R-S-T) R-N T-N		R-T(R-S-T) R-N T-N
L-2B (2階 廊下) 屋内埋込型 銅板		A	○	○	○	○	2・50/20	非常照明	280	20				
			○	○	○	○	2・50/20	予備						
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 事務室	1020	540				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 事務室		1200	540			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 会議室・通路	1320	360				
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 教育長・会議室		1440	451			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 更衣室・便所	980	550				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 教育長・会議室		600	600			
			○	○	○	○	1・50/30	コンセント 会議室・廊下	750	750				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室		750	750			
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室	1050	1050				
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 事務室	600	600				
			○	○	○	○	1・50/20	教育委員会、議会		200	200			
			○	○	○	○	1・50/20	農業委員会、教育委員会	600	600				
			○	○	○	○	1・50/20	農村整備課		300	300			
			○	○	○	○	1・50/20	土改連	500	500				
			○	○	○	○	2・50/20	コンセント 湯沸室 ウォータークーラー		555	555			
			○	○	○	○	2・50/20	室内機電源		438	438			
○	○	○	○	2・50/20	室内機電源		730	730						
								6820	6245	4950	4596	(R-N, T-N 合計)		
								1168	1168			(R-T 合計)		
								14233	10714			(合計)		
								14513	10734			(合計) 主幹一次側も含む		
L-2A (G2系統)より AC-GC1 2Φ 105V (改修前)	MCCB 3P 100AF/100AT 中性線欠相 保護付 (改修前)	↓	ELCB 3P 100AF/100AT 中性線欠相 保護付 (改修後)	○	○	○	○	2・50/20	電灯 事務室	180	298			

盤結線図 既設、改修

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器	名称	改修前		改修後		備考			
			200	100	MCCB	ELCB			P・AF/AT	容量(VA)(k)	容量(VA)(k)	R-T(R-S-T) R-N T-N		R-T(R-S-T) R-N T-N		
電算機盤 (2階 電算室) 屋内埋込型 銅板		◇	○	○	○	○	2・50/20	電算室	100	100						
			○	○	○	○	2・50/20	住民課1	200	200						
			○	○	○	○	2・50/20	住民課2	500	500						
			○	○	○	○	2・50/20	保健課	200	200						
			○	○	○	○	2・50/20	税務課	200	200						
			○	○	○	○	2・50/20	電算HUB	200	200						
			○	○	○	○	2・50/20	電算室2		200	200					
			○	○	○	○	2・50/20	住民課1		200	200					
			○	○	○	○	2・50/20	住民課2	500	500						
			○	○	○	○	2・50/20	保健課		500	500					
非常電灯動力盤より AC-GC1 3Φ 210-105V (改修後)		◇	○	○	○	○	2・50/20	保健課	300	300						
			○	○	○	○	2・50/20	電算室1		200	200					
			○	○	○	○	2・50/20	電算室2	200	200						
			○	○	○	○	2・50/20	住民課1		200	200					
			○	○	○	○	2・50/20	住民課2	500	500						
			○	○	○	○	2・50/20	保健課		500	500					
			○	○	○	○	2・50/20	税務課	300	300						
			○	○	○	○	2・50/20	電算室1		200	200					
			○	○	○	○	2・30/20	戸籍1	500	500			(27) (番号無しの為 改修)			
			○	○	○	○	2・30/20	戸籍2	100	100			(28) (番号無しの為 改修)			
L-2Aより AC1 3Φ 210-105V (改修前)		◇	○	○	○	○	2・30/20	戸籍3	100	100			(29) (番号無しの為 改修)			
			○	○	○	○	2・30/20	L G W A N	500	500			(30) (番号無しの為 改修)			
			○	○	○	○	2・30/20	(名称なし)	500	500			(31) (番号無しの為 改修)			
											2000	1600	2000	1600	(R-N, T-N 合計)	
											3600	3600			(合計)	
			非常電灯動力盤より AC-GC1 2Φ 105V (改修前)		◇	○	○	○	○	2・50/20	電算室1(EX5800/120MD)	500	500			
						○	○	○	○	2・50/20	電算室2(住基ネットワーク)	200	200			
						○	○	○	○	2・50/20	住民課1	200	200			
						○	○	○	○	2・50/20	住民課2(EX5800/180MD)	200	200			
						○	○	○	○	2・50/20	住民課2	500	500			
○	○	○				○	2・50/20	保健課								
○	○	○				○	2・50/20	税務課	100	100						
○	○	○				○	2・50/20	住民課2(建設課)	300	300						
○	○	○				○	2・30/20	(名称なし)	500	500			(19) (番号無しの為 改修)			
○	○	○				○	2・30/20	(名称なし)	500	500			(20) (番号無しの為 改修)			
キュービクルより (改修後)		◇	○	○	○	○	3・30/30	クーラー電源	2.47	2.47						
											3000	3000			(合計)	

盤結線図 既設、改修

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器	名称	改修前		改修後		備考	
			200	100	MCCB	ELCB			P・AF/AT	容量(VA)(k)	容量(VA)(k)	R-T(R-S-T) R-N T-N		R-T(R-S-T) R-N T-N
L-3A (3階 廊下) 屋内埋込型 銅板		A	○	○	○	○	3・100/100	L-3Bへ	12535	8705				
			○	○	○	○	3・100/75	L-3Cへ	10520	3506				
			○	○	○	○	2・50/20	非常照明	320	41				
			○	○	○	○	2・50/20	非常用進入口表示灯		15	15			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 議員控室		960	540			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 議会議務局		1160	332			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 議員ロッカー・図書室		1040	504			
			○	○	○	○	1・50/20	電灯 屋上		360	175			
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 図書・廊下・機械室		900	900			
			○	○	○	○	1・50/20	コンセント 議長室		750	750			
			○	○	○	○	1・50/20	予備						
			○	○	○	○	1・50/20	予備						
○	○	○	○	1・50/20	予備									
○	○	○	○	1・50/20	ファン 議長・控入・図書室		1170	1170						
○	○	○	○	2・50/20	エアコン 閲覧室		2100	2100						
○	○	○	○	2・50/20	エアコン 印刷室 (中層内)		2090	2090			(15) (番号無しの為 改修)			
								2900	3440	1944	2442	(R-N, T-N 合計)		
								4190	4190			(R-T 合計)		

盤結線図 改修前(既設、改修)

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
L-3C (3階 廊下) 屋内埋込型 銅板 L-3Aより AC1 3W 210-105V	200V 100V回路に改修	1	○	○	○	○	○	2・50/20	電灯 講場	1800		
		2	○	○	○	○	○	2・50/20	電灯 講場	1800		
		3	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 講場	1080		
		4	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 講場	500		
		5	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 講場	450		
		6	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 講場	330		
		7	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 講場	1050		
		8	○	○	○	○	○	1・50/20	コンセント 講場	600		
		9	○	○	○	○	○	1・50/20	コンセント 講場放送用	1500		
		10	○	○	○	○	○	1・50/20	リモコントランス	50		
		11	○	○	○	○	○	1・50/20	リモコントランス	50		
		12	○	○	○	○	○	1・50/20	予備			
									2560	4080	(R-N, T-N 合計)	
									3600		(R-T 合計)	
									10240		(合計)	

盤結線図 改修後(既設、改修)

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
L-3C (3階 廊下) 屋内埋込型 銅板 L-3Aより AC1 3W 210-105V	200V 100V回路に改修	1	○	○	○	○	○	2・50/20	電灯 書庫	123		回路名称変更
		2	○	○	○	○	○	2・50/20	電灯 書庫	123		回路名称変更
		3	○	○	○	○	○	1・50/20	予備			回路名称変更
		4	○	○	○	○	○	1・50/20	予備			回路名称変更
		5	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 書庫(旧傍聴者席)	50		回路名称変更
		6	○	○	○	○	○	1・50/20	予備			回路名称変更
		7	○	○	○	○	○	1・50/20	電灯 録音室・通路	60		
		8	○	○	○	○	○	1・50/20	コンセント 講場	1050		
		9	○	○	○	○	○	1・50/20	コンセント 講場	600		
		10	○	○	○	○	○	1・50/20	コンセント 講場放送用	1500		
		11	○	○	○	○	○	1・50/20	予備			回路名称変更
		12	○	○	○	○	○	1・50/20	予備			
									833	2673	(R-N, T-N 合計)	
									0		(R-T 合計)	
									3506		(合計)	

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
M-1 (屋外) 屋外自立型 SUS,IP		1	○	○	○	○	○	3・100/75	MAC-1(1階)	13.19		
		2	○	○	○	○	○	3・50/30	AC-3(1階)	2.92		
		3	○	○	○	○	○	3・50/20	AC-4(1階)	1.16		
		4	○	○	○	○	○	3・50/30	予備			
キュービクル(P1系統)より AC3 3W 210V		1	○	○	○	○	○	3・100/75	MAC-3(2階)	14.85		
		2	○	○	○	○	○	3・100/60	MAC-5(2階)	10.97		
		3	○	○	○	○	○	3・50/50	予備			
									43.09		(合計)	

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
M-2 (屋外) 屋外自立型 SUS,IP		1	○	○	○	○	○	3・225/125	MAC-2(1階)	21.16		
		2	○	○	○	○	○	3・50/50	予備			
キュービクル(P2系統)より AC3 3W 210V		1	○	○	○	○	○	3・100/75	MAC-4(2階)	14.85		
		2	○	○	○	○	○	3・100/60	MAC-6(2階)	10.97		
		3	○	○	○	○	○	3・50/50	予備			
									46.98		(合計)	

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
M-3 (3階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	3・50/50	AC-1(3階)	6.98		
		2	○	○	○	○	○	3・50/50	AC-1(3階)	6.98		
キュービクル(P3系統)より AC3 3W 210V		3	○	○	○	○	○	3・50/50	AC-1(3階)	6.98		
		4	○	○	○	○	○	3・50/50	AC-1(3階)	6.98		
		5	○	○	○	○	○	3・50/30	AC-2(3階)	2.92		
		6	○	○	○	○	○	3・50/30	AC-2(3階)	2.92		
		7	○	○	○	○	○	3・50/30	AC-2(3階)	2.92		
		8	○	○	○	○	○	3・50/50	予備			
									36.68		(合計)	

盤結線図

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
P-1 (3階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	3・50/20	OF-1(3階)	1.27		
		2	○	○	○	○	○	2・50/20	制御電源			

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
P-1A (1階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	3・100/75	消火ポンプ	5.5		
		2	○	○	○	○	○	3・100/75	消火ポンプ	5.5		

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
P-1B (1階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	3・100/75	モーターレカ 3P 10A	1.50		
		2	○	○	○	○	○	3・100/60	モーターレカ 3P 2.5A	0.45		
		3	○	○	○	○	○	3・50/50	予備			
キュービクル(P4系統)より AC3 3W 210V		4	○	○	○	○	○	3・100/75	モーターレカ 3P 10A	1.50		
		5	○	○	○	○	○	3・100/60	モーターレカ 3P 4A	0.75		
		6	○	○	○	○	○	2・50/20	空調操作盤電源			
									4.20		(合計)	

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
P-2 (1階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	3・50/15	EF-1	0.30		
		2	○	○	○	○	○	3・50/15	OF-1	0.81		
		3	○	○	○	○	○	3・50/15	EF-2	0.46		
		4	○	○	○	○	○	3・50/20	OF-2	1.27		
		5	○	○	○	○	○	2・50/20	制御電源			
									2.84		(合計)	

盤結線図 既設のまま

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
P-3 (3階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	モーターレカ 3P 7.1A	AH-3(3階空調機)	1.50		
		2	○	○	○	○	○	モーターレカ 3P 16A	AH-4(3階講場空調機)	3.70		
		3	○	○	○	○	○	モーターレカ 3P 2.5A	LF-3(3階講場排風機)	0.45		
		4	○	○	○	○	○	2・50/20	空調操作盤電源			
									5.65		(合計)	

盤結線図 既設のまま、2次側負荷無し(不使用)(M-1~3に幹線振替え済)

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
P-R (R階 機械室) 屋内壁掛型 銅板		1	○	○	○	○	○	3・225/200	空冷ヒートポンプチャラー	35.1		
		2	○	○	○	○	○	3・225/200	空冷ヒートポンプチャラー	35.1		
									70.2		(合計)	
キュービクル(P1系統)より AC3 3W 210V		1	○	○	○	○	○	3・225/200	空冷ヒートポンプチャラー	35.1		
		2	○	○	○	○	○	3・225/200	空冷ヒートポンプチャラー	35.1		
									70.2		(合計)	
キュービクル(P2系統)より AC3 3W 210V		1	○	○	○	○	○	3・225/200	空冷ヒートポンプチャラー	35.1		
		2	○	○	○	○	○	3・225/200	空冷ヒートポンプチャラー	35.1		
		3	○	○	○	○	○	2・50/20	空調操作盤電源			
									50.1		(合計)	

盤結線図 既設、改修

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
外灯盤 (1階 廊下) 屋内埋込型 銅板		1	○	○	○	○	○	2・50/20	外灯回路1			
		2	○	○	○	○	○	2・50/20	外灯回路2			
		3	○	○	○	○	○	2・50/10	操作電源			

盤結線図 主幹ブレーカ切(不使用)(既設のまま)

盤名称・電源種別 主幹開閉器	分岐	回路No	電圧(V)				分岐開閉器		名称	容量(VA)(kw)		備考
			200	100	MCCB	ELCB	P-AF/AT	R-T(R-S-T)		R-N T-N		
鹿児島県防災情報 センター分電盤 屋内壁掛型 ホーム分電盤 AC-5C1 3W 210-105V		1	○	○	○	○	○	2・50/20	町長室			
		2	○	○	○	○	○	2・50/20	電算室			
		3	○	○	○	○	○	2・50/20	警備員室			
		4	○	○	○	○	○	2・50/20	予備			
		5	○	○	○	○	○	2・50/20	予備			
		6	○	○	○							

ブルボックスリスト

記号	仕様	備考
☒(1)	600×600×H600 SUS,WP	新設
☒(2)	600×600×H600 鋼板	新設
☒(3)	200×200×H200 鋼板	新設
☒	既設	既設のまま

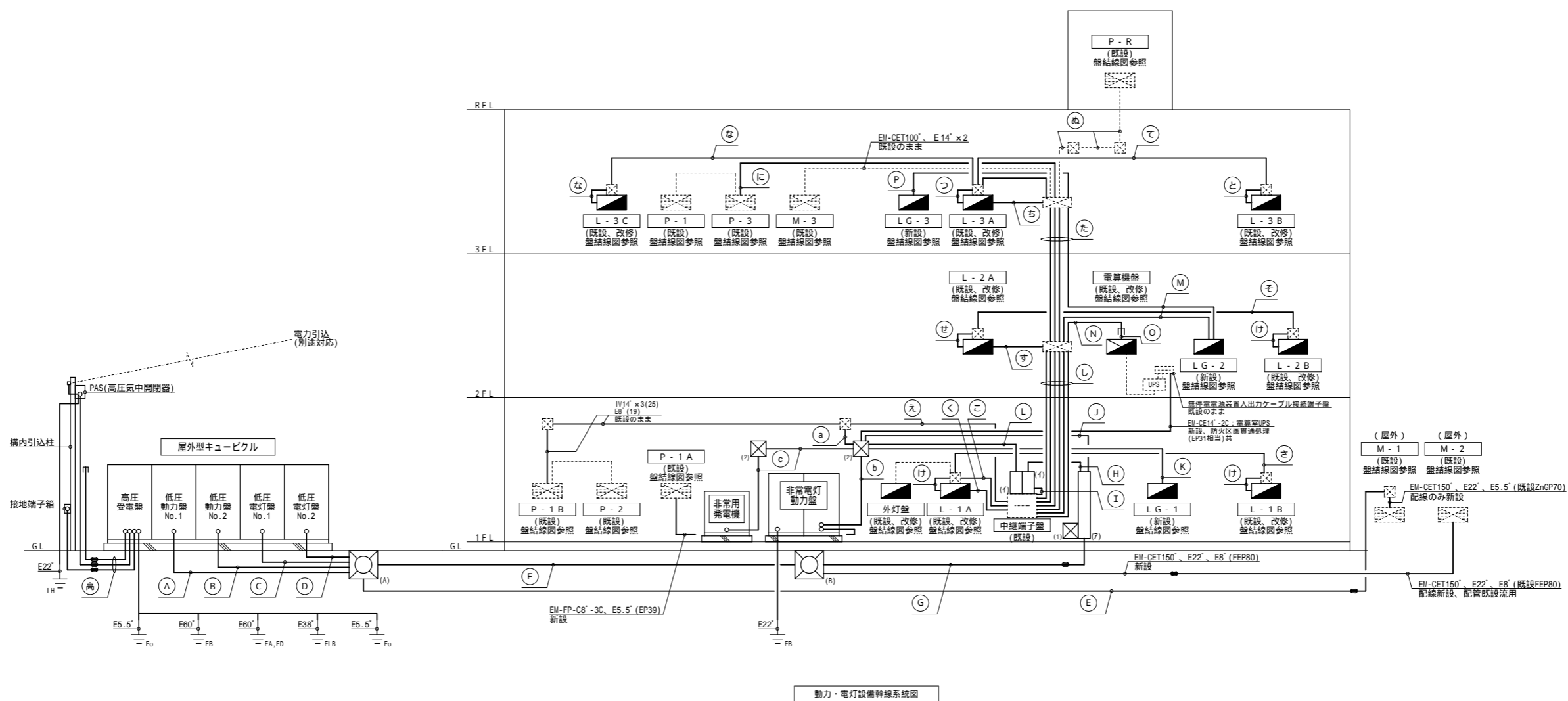
金属ダクトリスト

記号	仕様	備考
□(7)	AS 500×H400 (鋼板、蓋ビス留)	新設
□(4)	AS 500×H200 (鋼板、蓋ビス留)	新設

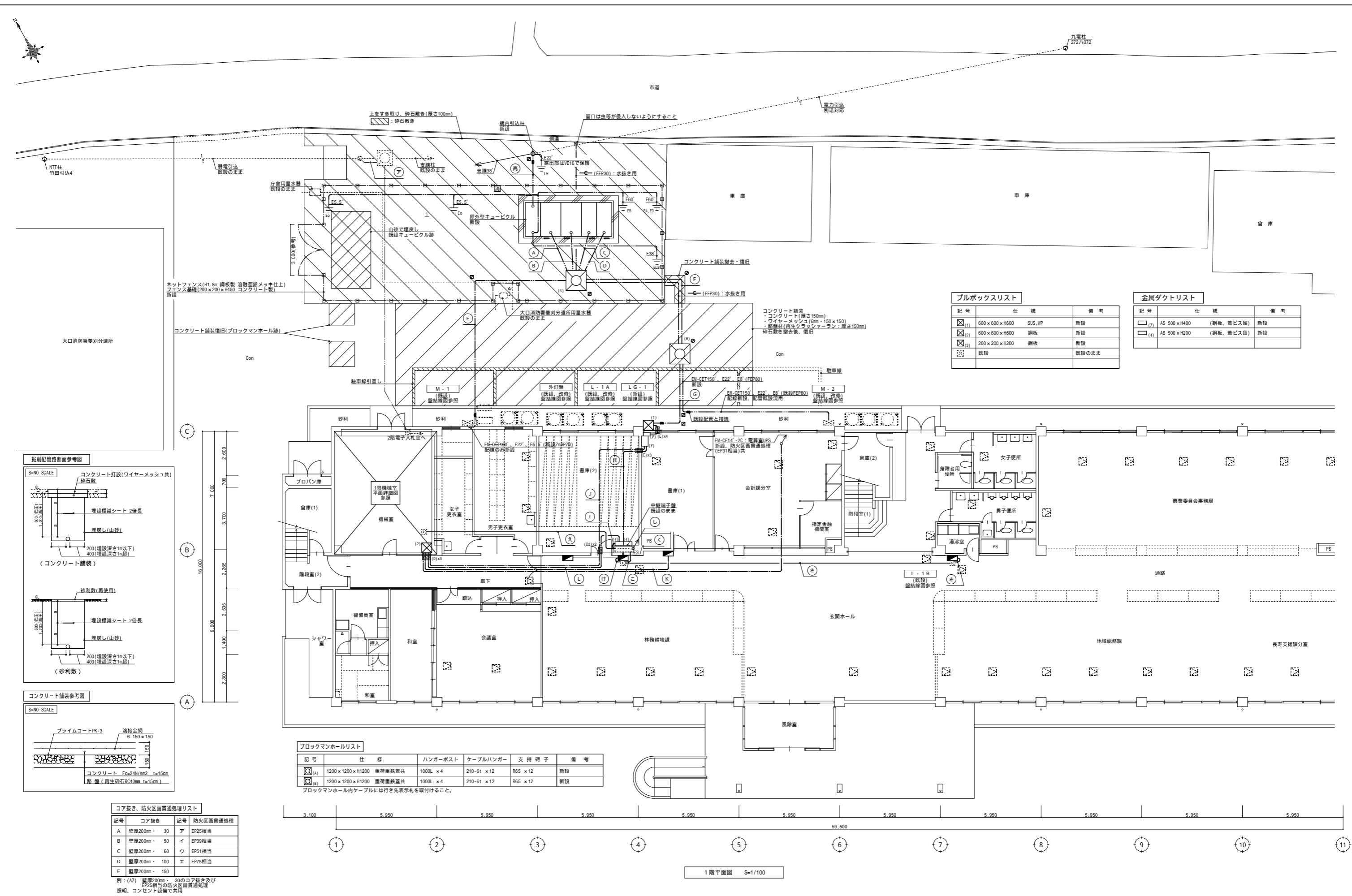
ブロックマンホールリスト

記号	仕様	ハンガーポスト	ケーブルハンガー	支持 碍子	備考
☒(A)	1200×1200×H1200 重荷重鉄蓋共	1000L×4	210-61×12	R65×12	新設
☒(B)	1200×1200×H1200 重荷重鉄蓋共	1000L×2	210-61×6	R65×6	新設

ブロックマンホール内ケーブルには行き先表示札を取付けること。



動力・電灯設備幹線系統図



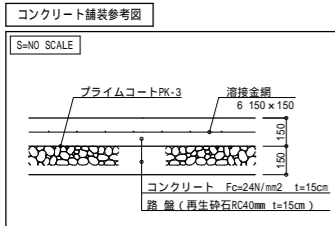
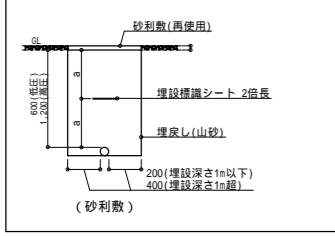
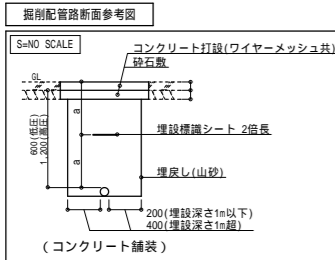
ブルボックスリスト

記号	仕様	備考
☒(1)	600×600×H600 SUS, WP	新設
☒(2)	600×600×H600 鋼板	新設
☒(3)	200×200×H200 鋼板	新設
☐(4)		既設

金属ダクトリスト

記号	仕様	備考
☐(7)	AS 500×H400 (鋼板、蓋ビス留)	新設
☐(1)	AS 500×H200 (鋼板、蓋ビス留)	新設

コンクリート舗装
 ・コンクリート(厚さ150mm)
 ・ワイヤメッシュ(6mm・150×150)
 ・舗装材(再生砕石RC40mm・厚さ150mm)
 砕石を露出後、復旧



ブロックマンホールリスト

記号	仕様	ハンガーポスト	ケーブルハンガー	支持磚子	備考
☒(A)	1200×1200×H1200 重荷重鉄蓋共	1000L×4	210-6t×12	R65×12	新設
☒(B)	1200×1200×H1200 重荷重鉄蓋共	1000L×4	210-6t×12	R65×12	新設

ブロックマンホール内ケーブルには行き先表示札を取付けること。

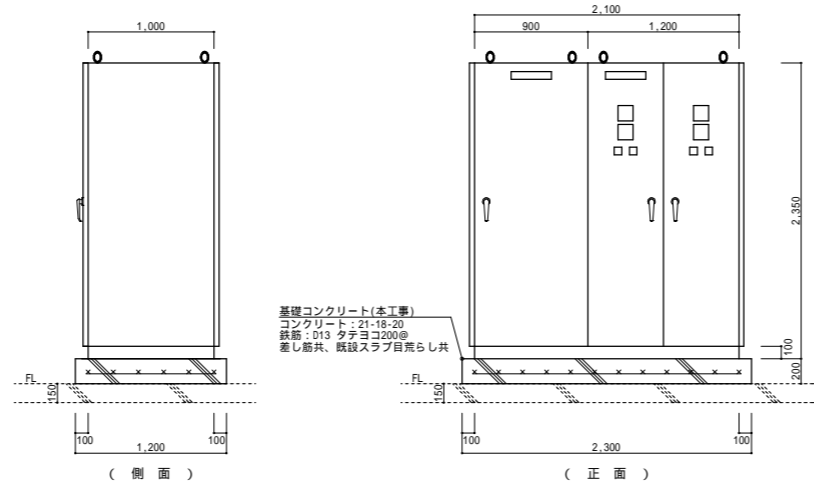
コア抜き、防火区画貫通処理リスト

記号	コア抜き	記号	防火区画貫通処理
A	壁厚200mm・30	ア	EP25相当
B	壁厚200mm・50	イ	EP39相当
C	壁厚200mm・60	ウ	EP51相当
D	壁厚200mm・100	エ	EP75相当
E	壁厚200mm・150		

例：(A7) 壁厚200mm・30のコア抜き及びEP25相当の防火区画貫通処理照明、コンセント設備で共用

1階平面図 S=1/100

注記	
1.	屋内型キュービクル2面体(鋼板製、前面保守型)とする。
2.	基礎工事は本工事とする。
3.	変圧器は、「トランスランナー変圧器」とする。
4.	ブレーカは遮断容量を満足する製品とする。

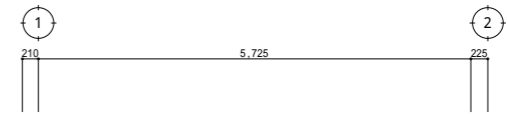
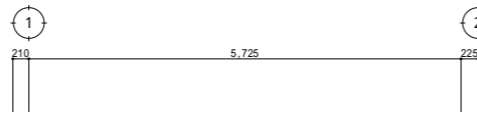


非常電動動力盤参考図 S=1/30

換気設備機器表 新設

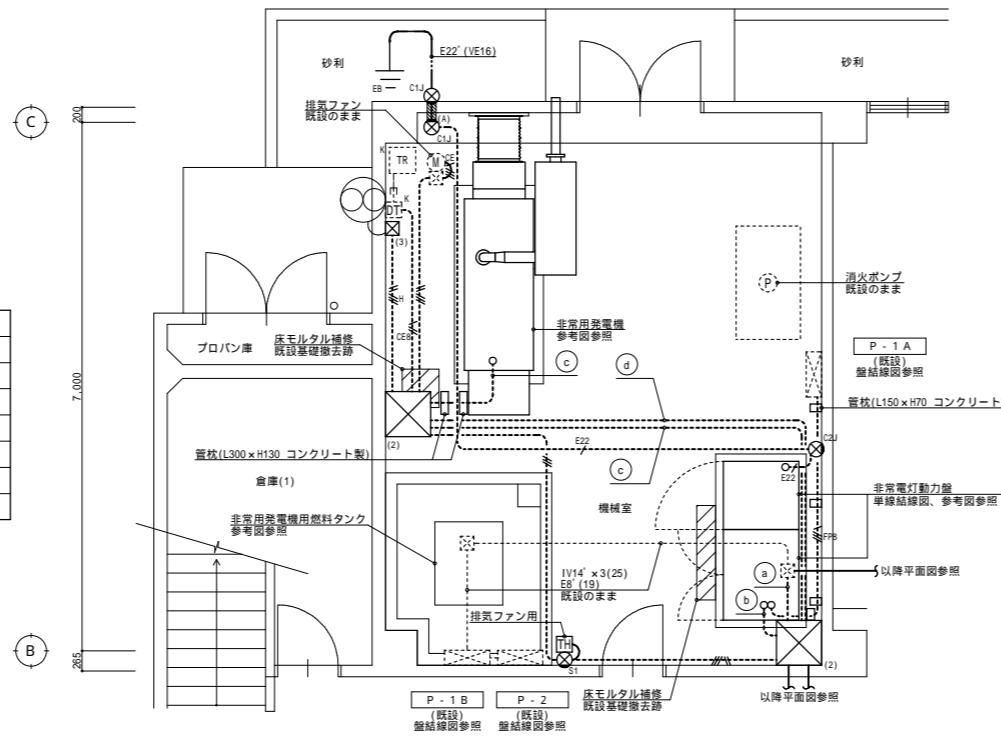
記号	形状	接続口径 mm	風量 m ³ /h	静圧 Pa	電源		騒音 (dB)	合計	備考	
					電圧	単相/3相				
FA-1	給気用有圧換気扇 (低騒音形SUS製)	600	8,900	80.0	200V	3	750	59.0	1	SUS製絶縁種・SUS製バックガード・600用SUS製ウェザーカーバー(防鳥網)

1. 機器は室の使用等支障がないように、騒音値の低い機器を選定すること。
2. 機器機器の電気容量は、記載値以下のものを選定する。
3. 消費電力は JIS C 9603 に基づき測定した値とする。

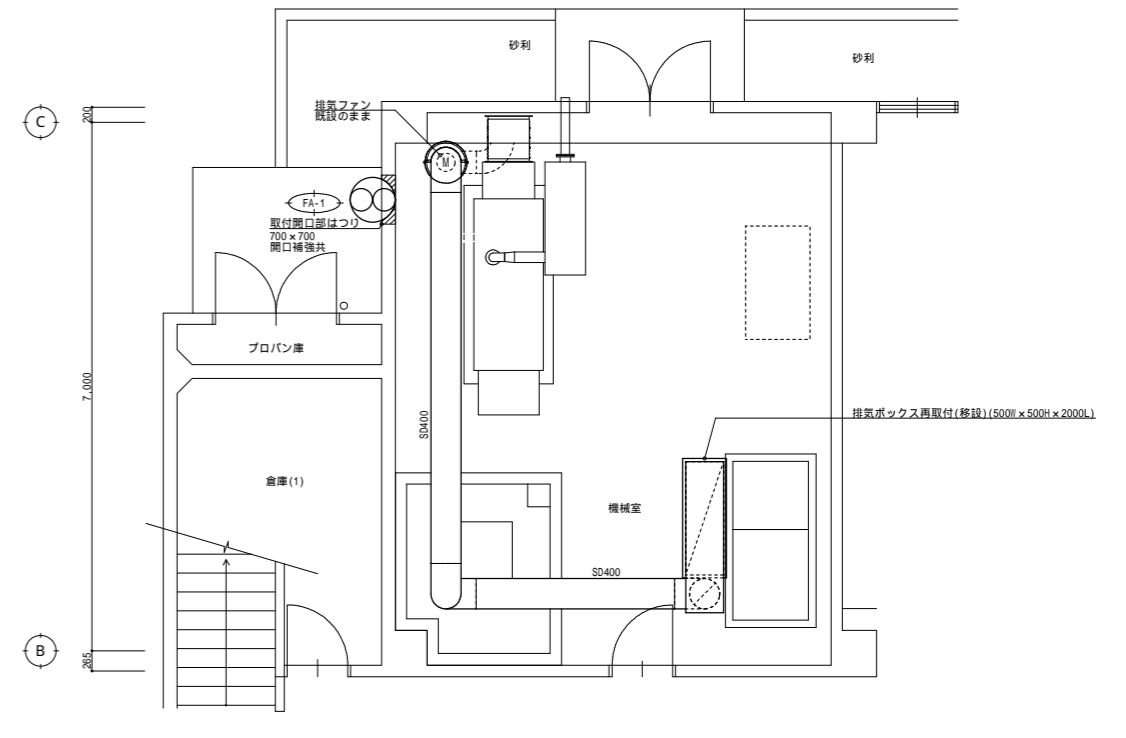


注記) 図中特記なき配線は下記による。

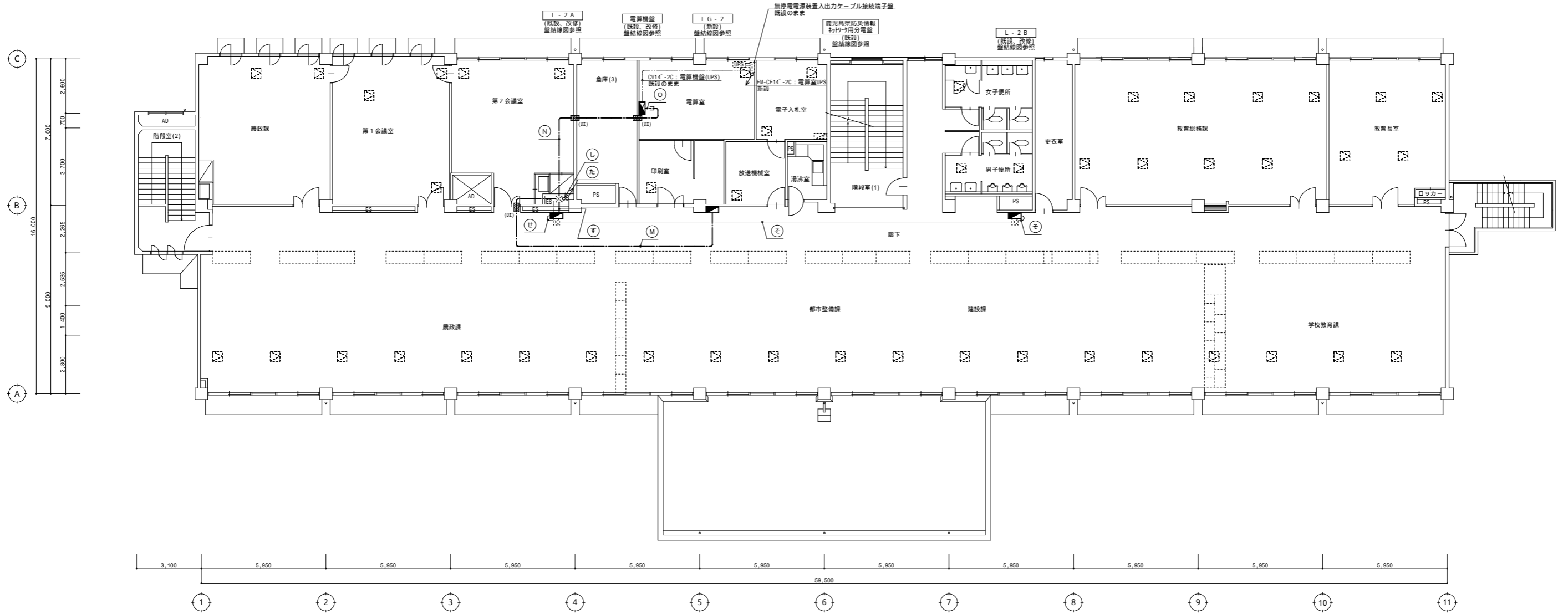
EM-IE1.6×3	(EP19)	新設
EM-IE1.6×3, E1.6×2	(EP25)	新設
HIV1.6×3, E1.6×2	(EP25)	新設
EM-CE2'-4C(1C:E)	(EP25)	新設
EM-CE8'-2C, E2.0	(EP31)	新設
EM-FP-C8'-3C, E5.5'	(EP39)	新設
E22'	(VE16)	新設



1階機械室平面詳細図 S=1/50
(電気配線配管)



1階機械室平面詳細図 S=1/50
(排気ファンダクト)



2階平面図 S=1/100

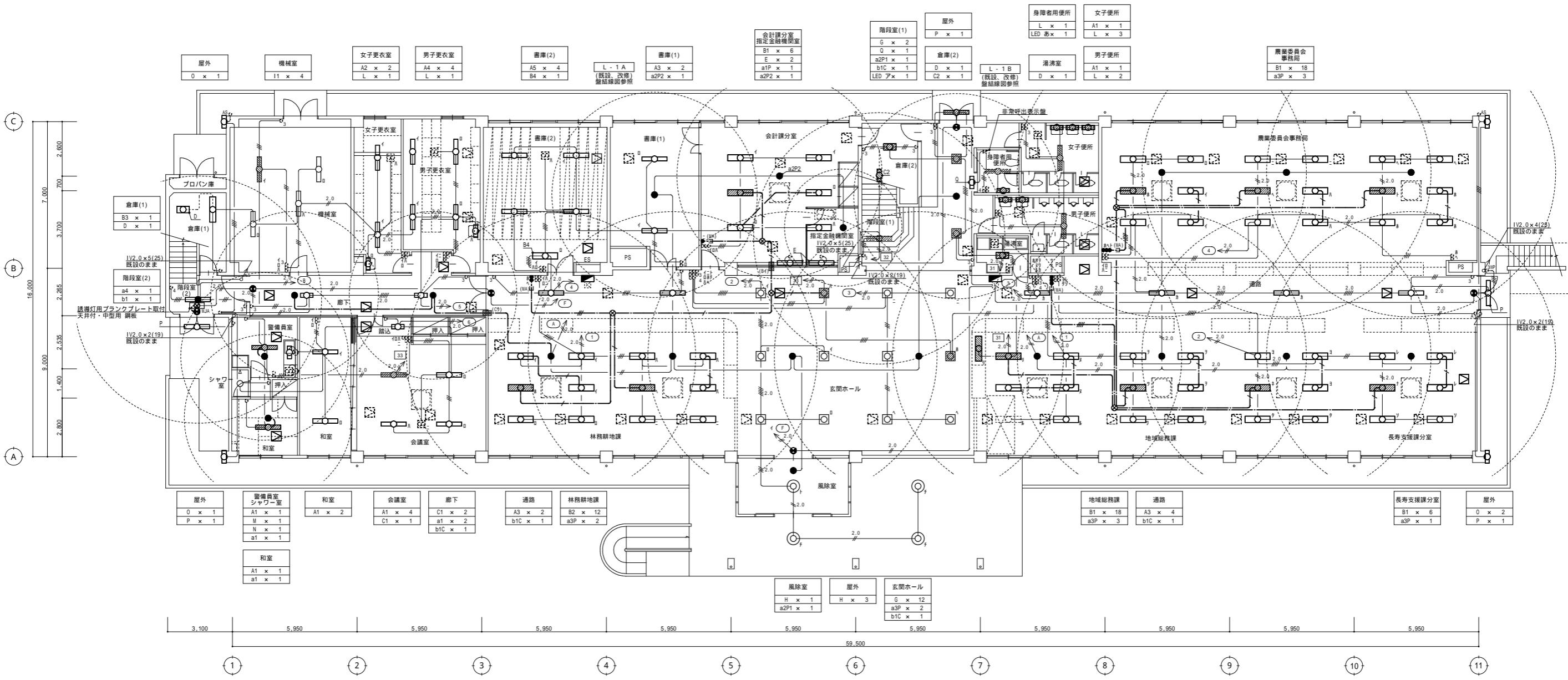
		〒890-0061 鹿児島市天保山町4-6第2号英社ビル201号 TEL(099)298-5750 FAX(099)298-5751	検印 検印 担当 製図	業務名称 鹿児島庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事	日付 令和7年12月	図面番号 17/40
			図面名称 改修後 幹線、動力設備 2階平面図	縮尺 S=1/100		

照明器具参考図

A1	LSS9-4-65LN (露出型 LED ベースライト)	B1	LSS10-4-65LN (露出型 LED ベースライト)	C1	LSS9-2-30LN (露出型 LED ベースライト)	D	LSS10-2-30LN (露出型 LED ベースライト)	E	LSS1-4-23LN (露出型 LED ベースライト)	F	LRS1-08LN (ダウンライト LED リニューアルプレート共) 埋込寸法(参考): 150 リニューアルプレート: 200 150用
A2	LSS9-4-48LN (露出型 LED ベースライト)	B2	LSS10-4-48LN (露出型 LED ベースライト)	C2	LSS9-2-15LN (露出型 LED ベースライト)						
A3	LSS9-4-37LN (露出型 LED ベースライト)	B3	LSS10-4-30LN (露出型 LED ベースライト)								
A4	LSS9-4-30LN (露出型 LED ベースライト)	B4	LSS10-4-23LN (露出型 LED ベースライト)								
A5	LSS9-4-23LN (露出型 LED ベースライト)										
G	LSS15-4-41LN (露出型 LED スクエアベースライト)	H	埋込型 LED 丸型ベースライト 器具光束 6700lm以上 本体: 銅板 枠: 鋼板, パネル: アクリル 埋込寸法(参考): 600	I1	露出型 LED ベースライト 反射空付	J	LSS13-4-62LN (露出型 LED 黒板灯)	K	露出型 LED コーナライト 器具光束 3700lm以上 本体: 鋼板 ライトバー(カバー): ポリカーボネート	L	露出型 LED ミラーライト 器具光束 800lm以上 壁付型 カバー: プラスチック
				I2	吊下型 LED ベースライト 反射空付 バイブ吊具500mm 器具光束 4900lm以上 本体: 鋼板 ライトバー(カバー): ポリカーボネート						
M	露出型 LED キッチンライト 器具光束 800lm以上 天井直付型・壁直付型 スイッチ付 カバー: プラスチック	N	露出型 LED シーリングライト 防湿型・防雨型 器具光束 700lm以上 天井直付型 カバー: アクリル	O	LBF3MP/RP2-06 (露出型 LED SUS, IP)	P	LBF3MP/RP4-20 (露出型 LED SUS, IP)	Q	露出型 LED 標示灯(白文字、赤地)『使用中』 壁面取付 枠: プラスチック	R	露出型 LED 赤色灯 電池内蔵型 電源部分タイプ・非常用LED併用型 壁付防雨型
a1	K1-LRS11-1 (非常照明 ダウンライト LED)	a2	K1-LRS11-2 (非常照明 ダウンライト LED)	a3	K1-LRS11-3 (非常照明 ダウンライト LED)	a4	K1-LSS9-4-65 (常用・非常照明一体型 ベースライト LED)	a5	LDS2-SK1-LBF11 階数表示付 (常用・非常照明兼用型 階段通路誘導灯 LED)	a6	常用・非常照明兼用型 階段通路誘導灯 LED 器具光束 6000lm以上(常用) 天井・壁直付型 ヒトセンサ段調光 非常灯許定番号: LAL-015 本体: 鋼板, レンズ: 付フス 蓄電池: ニッケル水素蓄電池
a1P	K1-LRS11-1 (非常照明 ダウンライト LED リニューアルプレート共) 埋込寸法(参考): 100 リニューアルプレート: 150 100用	a2P1	K1-LRS11-2 (非常照明 ダウンライト LED リニューアルプレート 150 100用共)	a3P	K1-LRS11-3 (非常照明 ダウンライト LED リニューアルプレート共) 埋込寸法(参考): 100 リニューアルプレート: 200 100用						
	保守率: 0.92 K0143779 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 単体配置 A1 3.8 4.0 4.0 2.8 直線配置 A2 8.5 9.4 9.9 10.1 四角配置 A4 6.9 7.6 8.1 8.9		保守率: 0.92 K0143780 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 単体配置 A1 4.2 4.6 4.7 4.9 3.3 直線配置 A2 9.3 10.2 10.8 11.9 12.9 四角配置 A4 7.4 8.2 8.7 9.6 11.7		保守率: 0.92 K0143780 器具取付高さ 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 5.0m 単体配置 A1 5.9 6.3 6.9 7.9 8.7 直線配置 A2 12.7 13.5 15.2 18.6 21.0 四角配置 A4 9.6 10.2 11.6 14.6 17.2		保守率: 0.93 K0176557 器具取付高さ 2.1m 2.4m 2.6m 3.0m 4.0m 単体配置 A1 5.4 5.6 5.8 6.0 4.7 直線配置 A2 12.5 13.5 14.0 15.0 16.5 四角配置 A4 11.2 11.8 12.3 13.1 14.6		保守率: 0.92 K0185274 器具取付高さ 1.5m 2.0m 2.5m 3.0m 4.0m 5.0m 階 Y=1.0m 21xX+ 6.4 7.1 7.8 8.4 9.1 9.2 11xX+ 8.0 9.0 9.9 10.6 11.8 12.5 階 Y=1.5m 21xX+ 6.3 7.2 7.9 8.4 9.0 9.2 11xX+ 7.9 8.9 9.7 10.5 11.7 12.5 階 Y=2.0m 21xX+ 5.8 6.8 7.7 8.3 9.0 9.1 11xX+ 7.7 8.7 9.6 10.4 11.7 12.5		保守率: 0.92 K0185274 器具取付高さ 1.5m 2.0m 2.5m 3.0m 4.0m 5.0m 階 Y=1.0m 21xX+ 6.4 7.1 7.8 8.4 9.1 9.2 11xX+ 8.0 9.0 9.9 10.6 11.8 12.5 階 Y=1.5m 21xX+ 6.3 7.2 7.9 8.4 9.0 9.2 11xX+ 7.9 8.9 9.7 10.5 11.7 12.5 階 Y=2.0m 21xX+ 5.8 6.8 7.7 8.3 9.0 9.1 11xX+ 7.7 8.7 9.6 10.4 11.7 12.5
b1	SH1-FBF20-BL (避難口誘導灯 B級B L型 直付型 片面 LED)	b2C	ST1-FSF23-BL + リニューアルプレート(天井付用) (通路誘導灯 B級B L型 直付型 両面 LED)								
b1C	SH1-FBF20-BL + リニューアルプレート(天井付用) (避難口誘導灯 B級B L型 直付型 片面 LED)										
b1W	SH1-FBF20-BL + リニューアルプレート(壁付用) (避難口誘導灯 B級B L型 直付型 片面 LED)										



記号	仕 様	
LED あ	露出型 LED 3200lm	:既設のまま
LED li	露出型 LED 5200lm	:再取付(移設)
LED ア	露出型 LED 3200lm 非常照明兼用型	:既設のまま
LED イ	避難口誘導灯 壁付型 LED B級R形	:既設のまま
LED ウ	通路誘導灯 天井付型 LED B級R形 両面表示	:既設のまま



会計課分室	B1 x 6	
指定金融機関室	E x 2	
	a1P x 1	
	a2P2 x 1	
階段室(1)	G x 2	
	Q x 1	
	a2P1 x 1	
	b1C x 1	
	C2 x 1	
屋外	P x 1	
倉庫(2)	D x 1	
L-1A	(既設、改修)	壁線図参照
L-1B	(既設、改修)	壁線図参照
身障者用便所	L x 1	
LED あ x 1		
女子便所	A1 x 1	
	L x 3	
湯沸室	D x 1	
男子便所	A1 x 1	
	L x 2	
農業委員会事務局	B1 x 18	
	a3P x 3	

注) 図中特記なき配線は下記による。

EM-EFP1.6-2C	新設	IV1.6x2	(19)	既設のまま
EM-EFP1.6-3C(1C:E)	新設	IV1.6x3	(19)	既設のまま
EM-EFP1.6-2C x 2	新設	IV1.6x4	(25)	既設のまま
EM-EFP1.6-2C (MMA)	新設	IV1.6x5	(25)	既設のまま
		IV1.6x6	(25)	既設のまま
		2.0		既設のまま
		IV2.0x2	(19)	既設のまま
		2.0		既設のまま
		IV2.0x3	(19)	既設のまま
		2.0		既設のまま
		IV2.0x4	(25)	既設のまま
		2.0		既設のまま
		IV2.0x5	(25)	既設のまま

薄線は既設のままを示す。
配線傍記(MA)はメタルモール型で配線保護を示す。

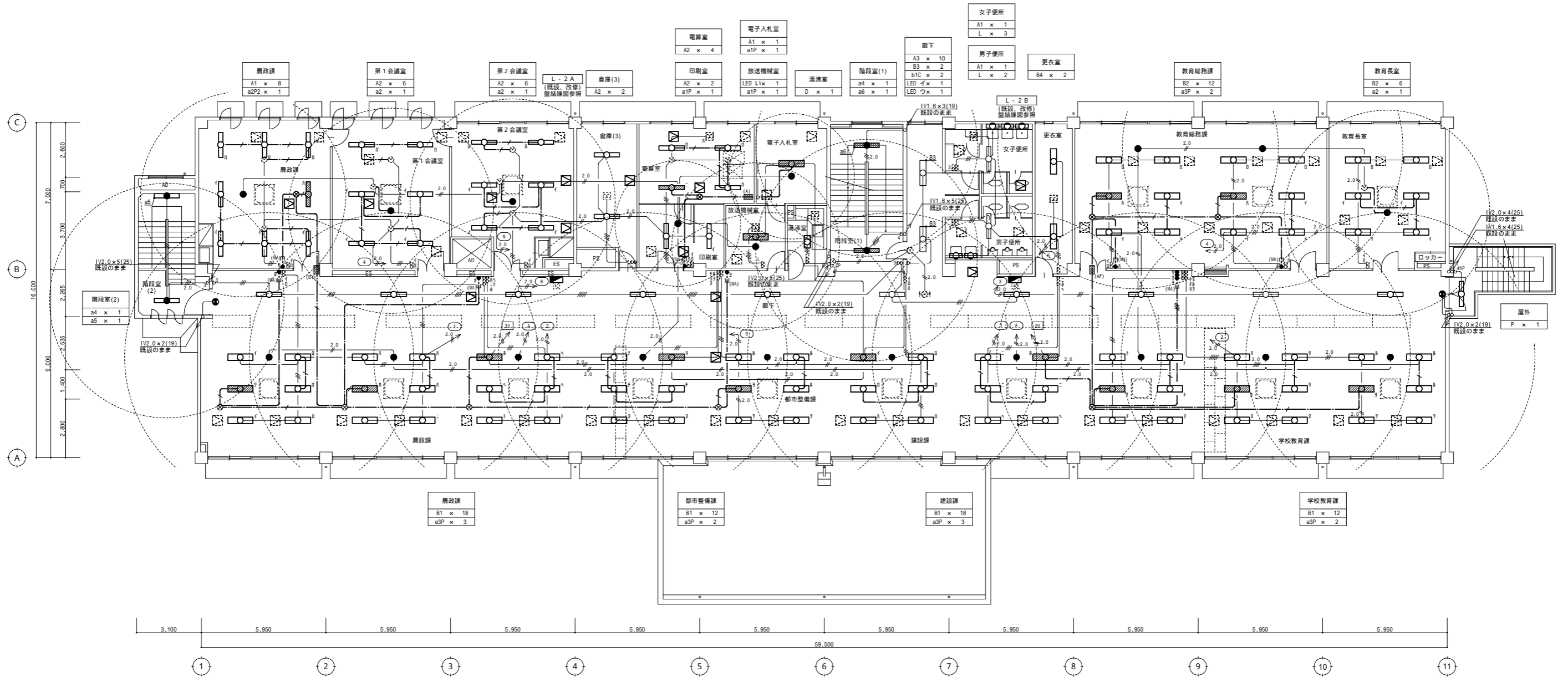
記号	コア抜き	記号	防火区画貫通処理
A	壁厚200mm・30	ア	EP25相当
B	壁厚200mm・50	イ	EP30相当
C	壁厚200mm・60	ウ	EP51相当
D	壁厚200mm・100	エ	EP75相当
E	壁厚200mm・150		

例: (A7) 壁厚200mm・30のコア抜き及びEP25相当の防火区画貫通処理
照明・コンセント設備で共用

1階平面図 S=1/100

非常電回路の照明器具はハッチングを示す
例:

	〒890-0061 鹿児島市天保山町4-6第2号英社ビル201号 TEL (099)298-5750 FAX (099)298-5751	検印 検図 担当 製図	業務名称 鹿児島市電気設備・高圧受変電設備等改修工事	日付 令和7年12月	図面番号 20/40
	一級建築士事務所 知事登録第 1-4-4 号 一級建築士登録番号 第 146627 号	図面名称 改修後 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 1階平面図	縮尺 S=1/100		



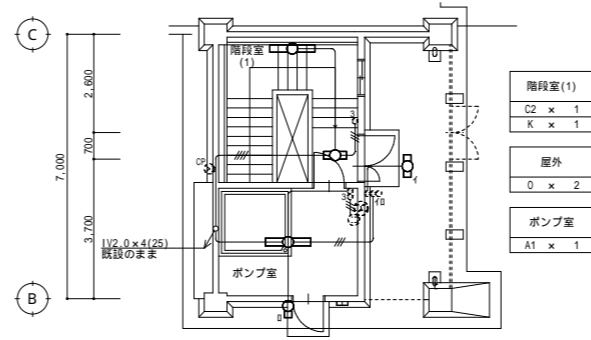
2階平面図 S=1/100

非常用電源の照明器具は
ハッチングで示す
例:

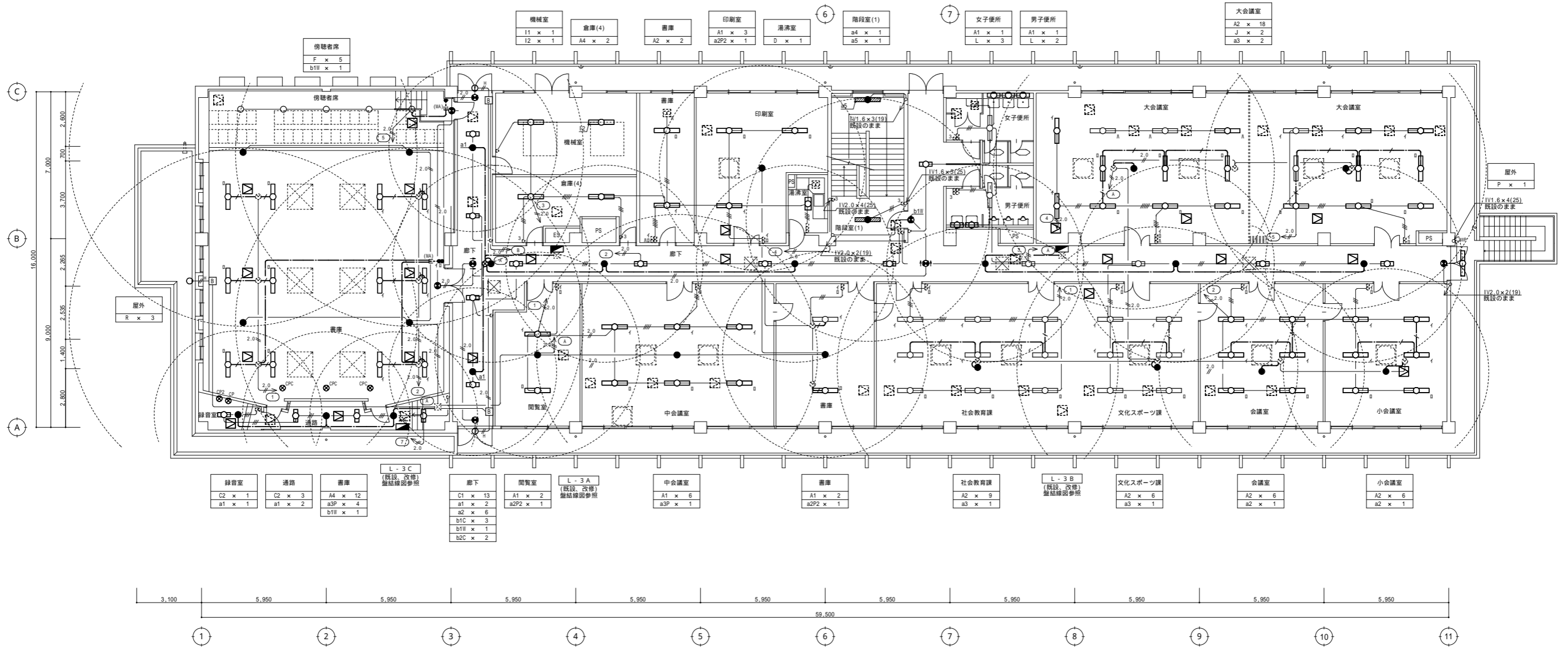
〒690-0061 鹿児島市天保山町4-6第2号英社ビル201号 TEL (099) 298-5750 FAX (099) 298-5751	有限会社 設備共同プラン 一般建築士事務所 知事登録第 1-4-4 号 一般建築士登録番号 第 160627 号
---	---

検印 検印 担当 製図 	業務名称 鹿児島庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事 図面名称 改修後 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 2階平面図
--------------------	---

日付 令和7年12月 縮尺 S=1/100	図面番号 21 / 40
--------------------------------	-----------------

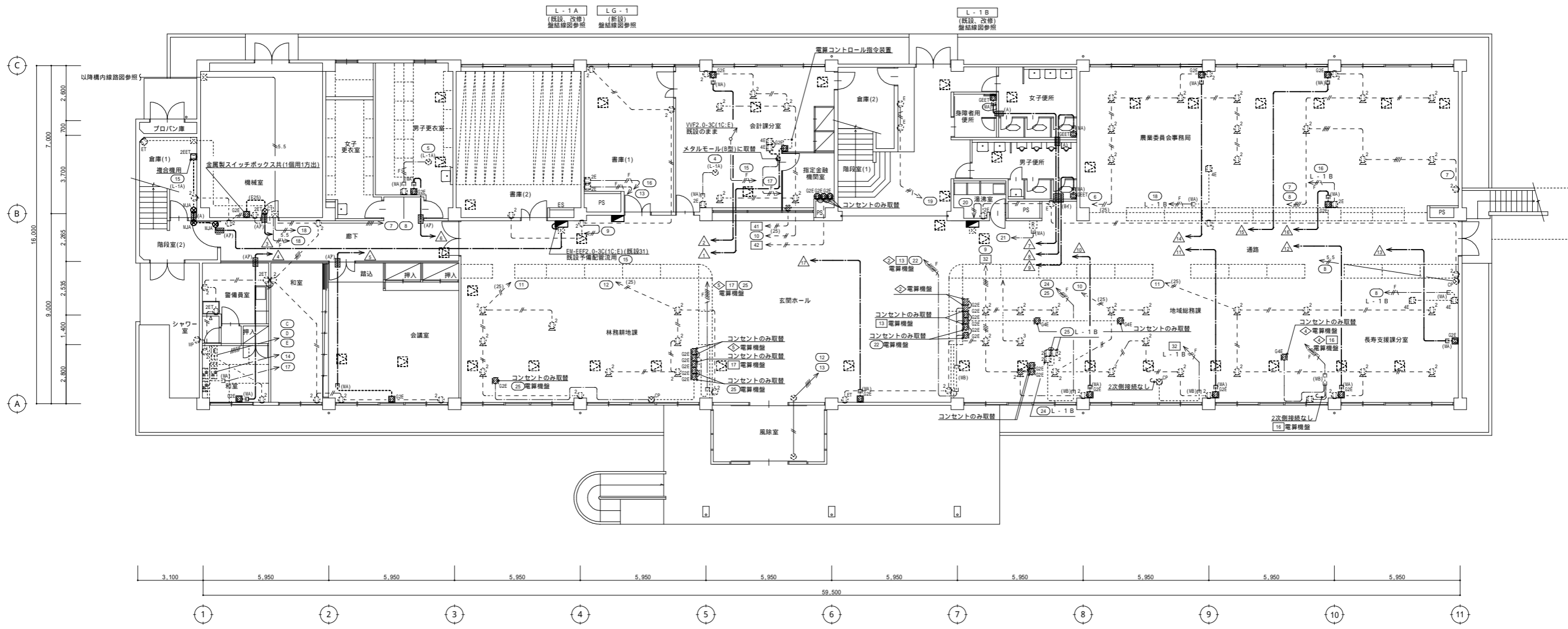


屋上平面図 S=1/100



3階平面図 S=1/100

非常電回路の照明器具はハッチングで示す
例:



注記) 図中特記なき配線は下記による。

EM-EFF2.0-3C(1C:E)	新設	IV1.6×2	(19)	既設のまま	VF2.0-3C(1C:E)	(25)	既設のまま
IV1.6×2	(19)	既設のまま	IV2.0×2	(19)	既設のまま	VF2.0-3C(1C:E)	既設のまま
IV2.0×2	(19)	既設のまま	IV2.0×2	(25)	既設のまま	VF2.0-2C	既設のまま
(25) IV2.0×2	(25)	既設のまま	IV2.0×4	(25)	既設のまま	VF2.0-2C×2	既設のまま
IV2.0×4	(25)	既設のまま	IV2.0×2, E2.0	(19)	既設のまま	VF2.0-3C(1C:E)	既設のまま
IV2.0×6	(25)	既設のまま	IV2.0×4, E2.0	(25)	既設のまま	VF2.0-3C(1C:E)	既設のまま
5.5 IV5.5'×2	(25)	既設のまま					
5.5 IV5.5'×2, E2.0	(25)	既設のまま					

薄線は既設のままを示す。
 配線傍記(MA)はメタルモールA型、(MB)はB型で配線保護を示す。
 配線傍記(E25)は薄鋼電線管EP25で配線保護を示す。

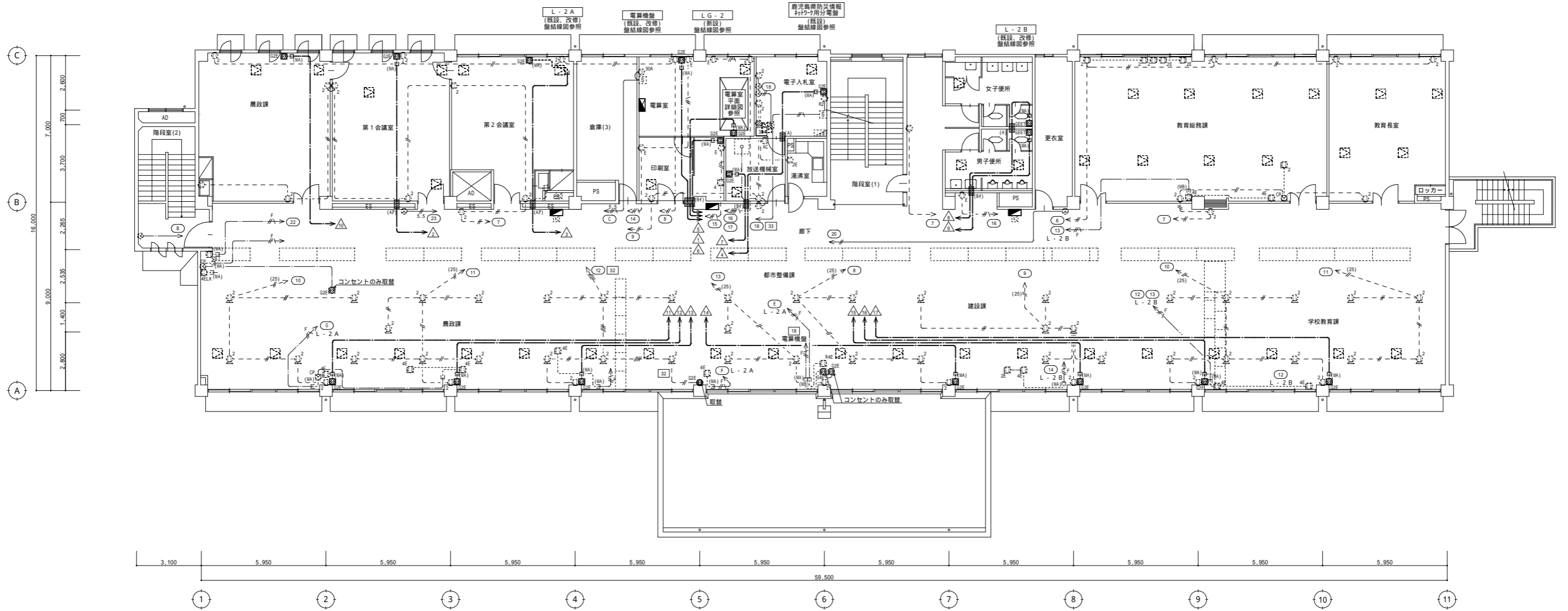
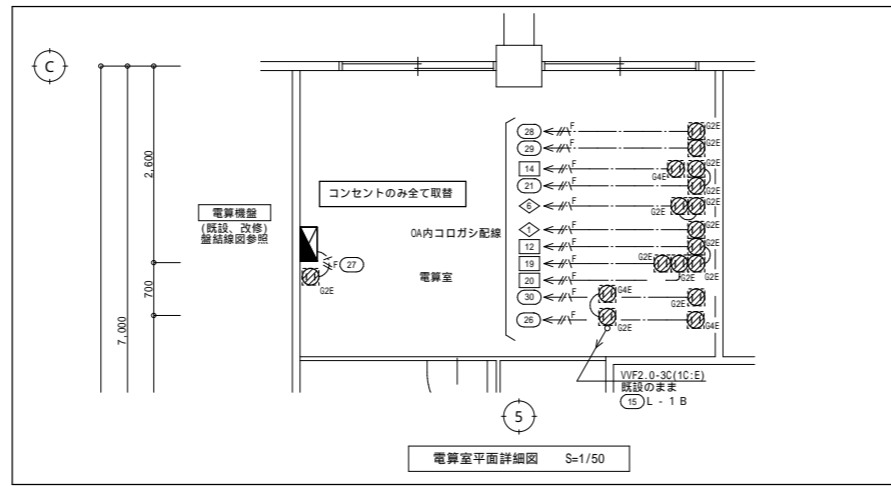
1階平面図 S=1/100

非常発電回路のコンセントはハッチングで示す。
 例: (A)

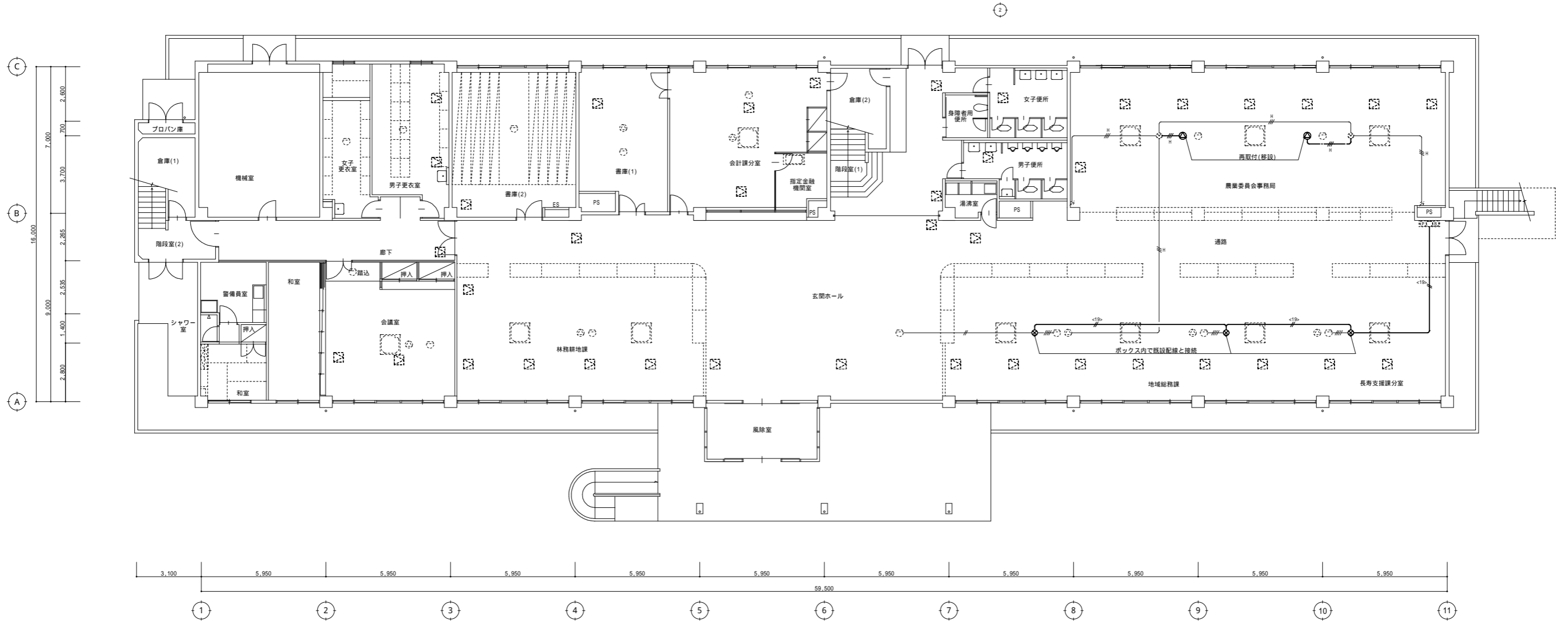
コア抜き、防火区画貫通処理リスト

記号	コア抜き	記号	防火区画貫通処理
A	壁厚200mm・30	ア	EP25相当
B	壁厚200mm・50	イ	EP39相当
C	壁厚200mm・60	ウ	EP51相当
D	壁厚200mm・100	エ	EP75相当
E	壁厚200mm・150		

例: (A7) 壁厚200mm・30のコア抜き及びEP25相当の防火区画貫通処理照明、コンセント設備で共用



非常帯電回路のコンセントは
ハッチングで示す。
例：(10)



注記) 図中特記なき配線は下記による。

拡声設備			
	EM-HP1.2-3C		新設
	HI V1.2 x 2	(19)	既設のまま
	HI V1.2 x 3	(19)	既設のまま
	HI V1.2 x 4	(19)	既設のまま
	HI V1.2 x 5	(19)	既設のまま
自動火災報知設備			
	EM-AE1.2-2C	(既設19)	配線新設 配管は既設活用
	AE1.2-4C		既設のまま

薄線は既設のままを示す。

1階平面図 S=1/100

有限会社 設備共同プラン

〒890-0061
鹿児島市天保山町4-6第2号英社ビル201号
TEL(099)298-5750
FAX(099)298-5751

検印		
検印	担当	製図

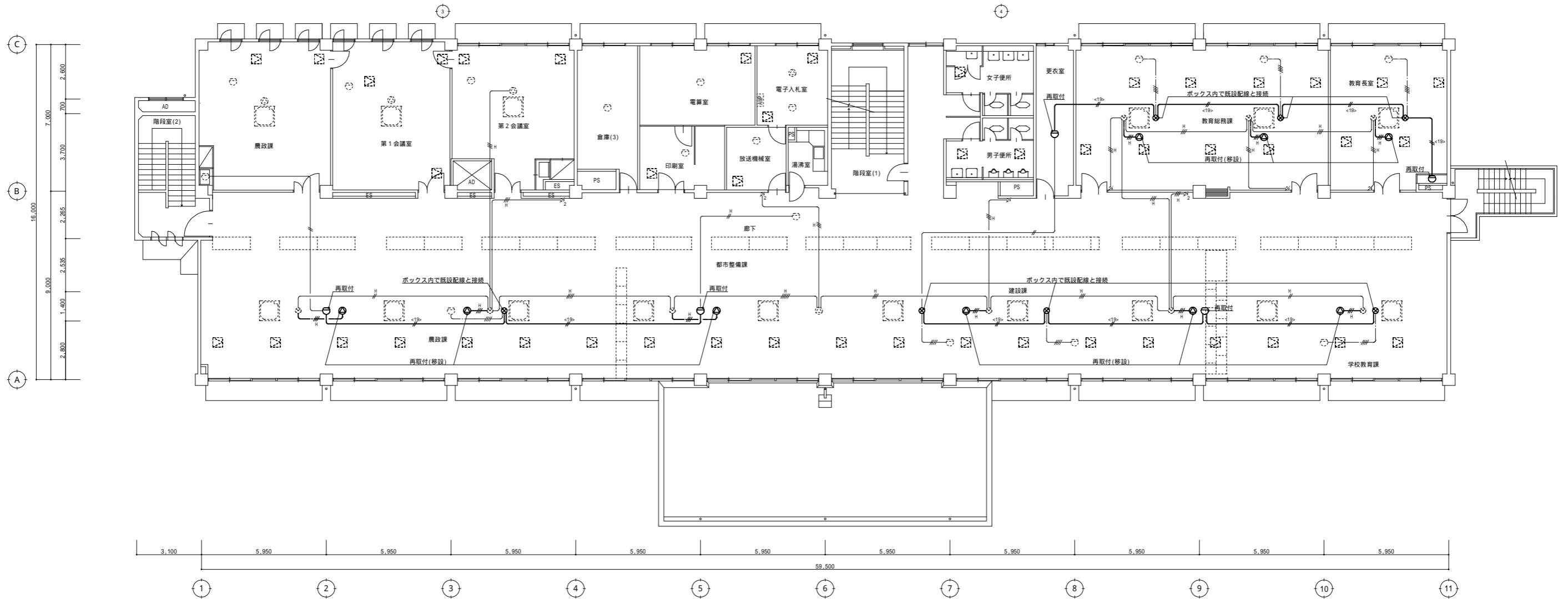
業務名称
鹿児島庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事

図面名称
改修後 拡声、自動火災報知設備 1階平面図

日付
令和7年12月

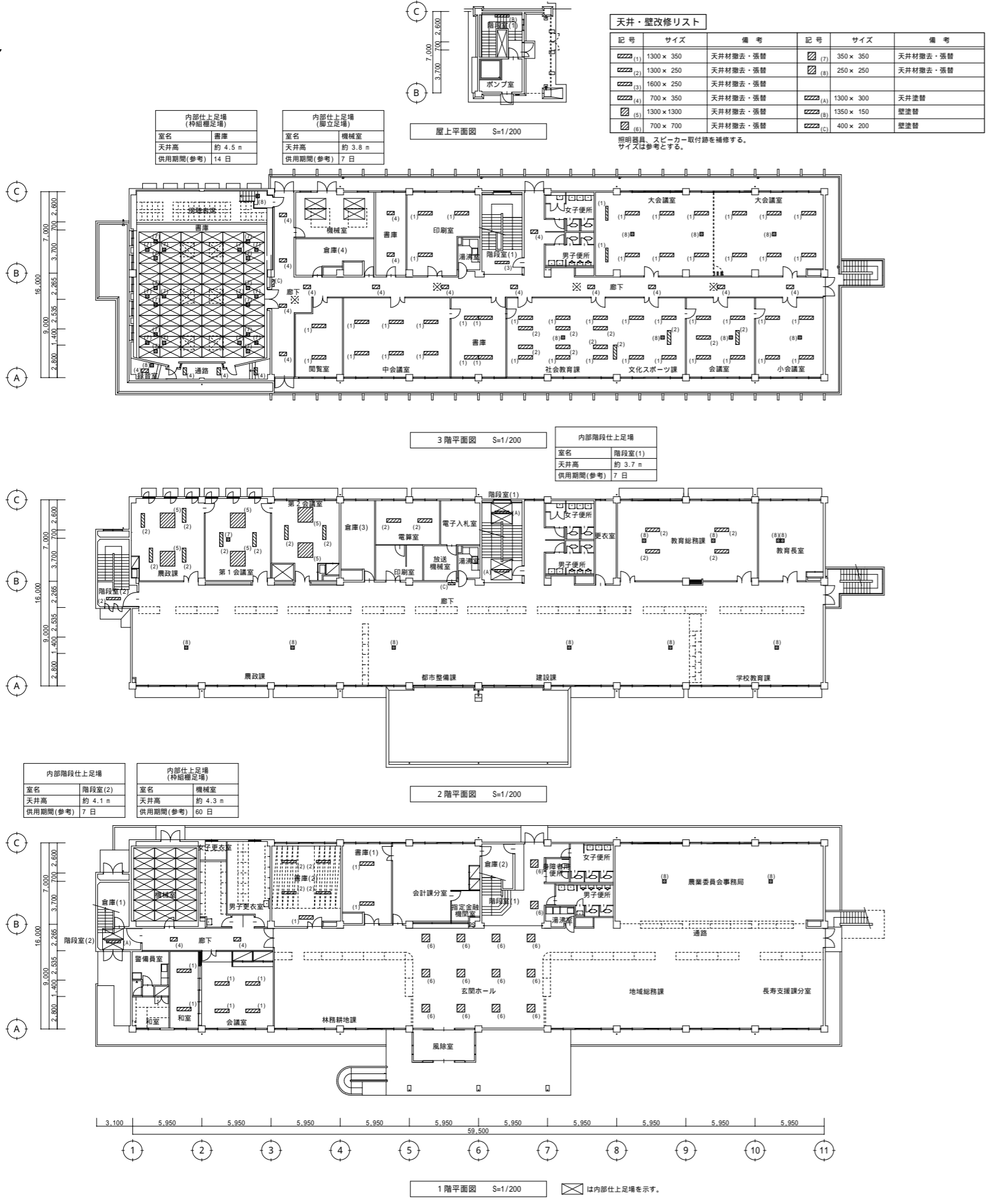
縮尺
S=1/100

図面番号
26/40



2階平面図 S=1/100

	有限会社 設備共同プラン <small>〒890-0061 鹿児島市天保山町4-6第2秀英社ビル201号 TEL(099)298-5750 FAX(099)298-5751</small>	検印 検図 担当 製図 		業務名称 鹿児島庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事	日付 令和7年12月	図面番号 27 / 40
		図面名称 改修後 拡声、自動火災報知設備 2階平面図		縮尺 S=1/100		



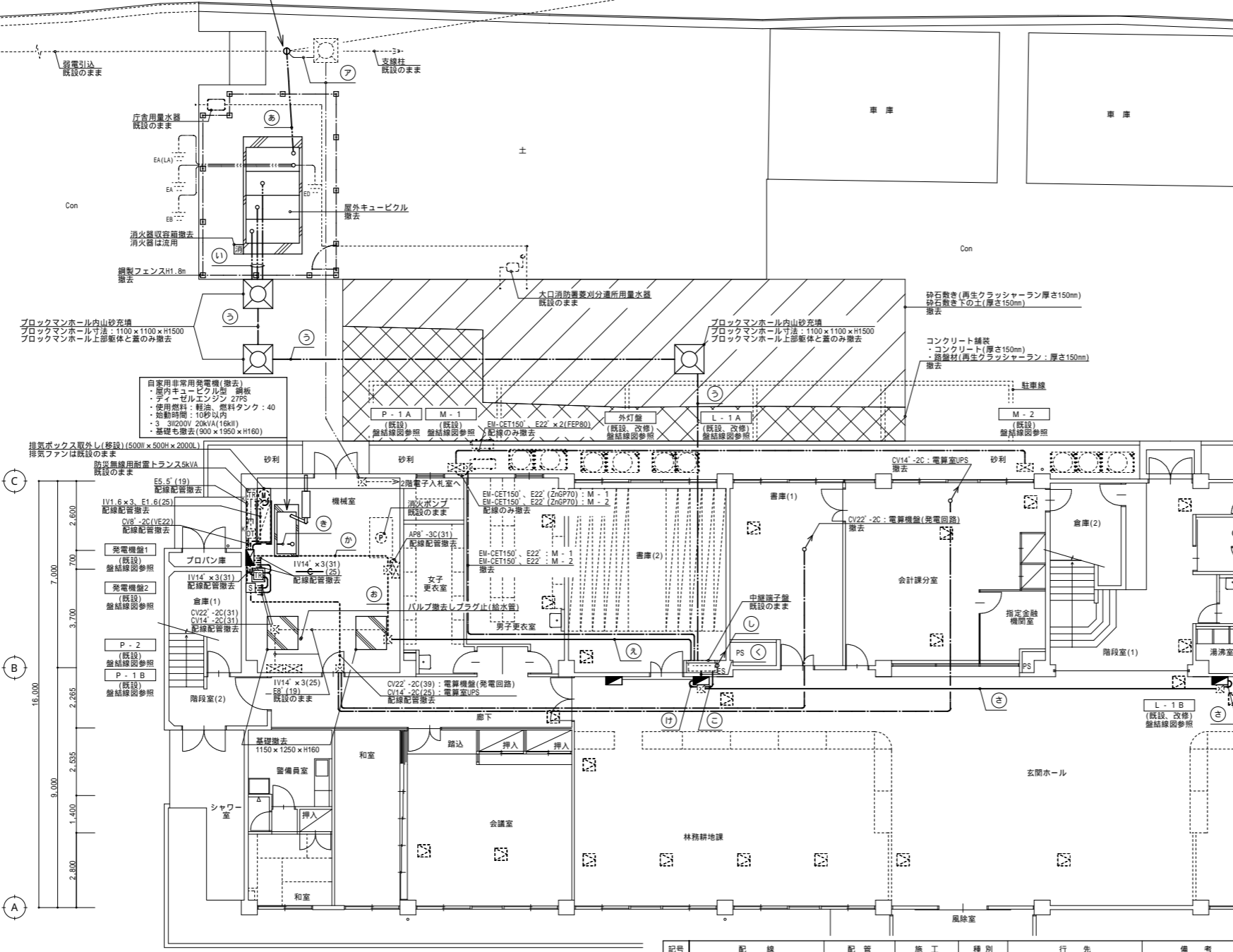
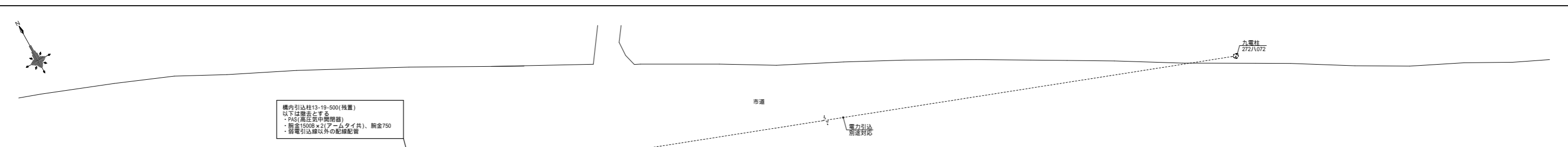
天井・壁改修リスト

記号	サイズ	備考	記号	サイズ	備考
①	1300 x 350	天井材撤去・張替	⑦	350 x 350	天井材撤去・張替
②	1300 x 250	天井材撤去・張替	⑧	250 x 250	天井材撤去・張替
③	1600 x 250	天井材撤去・張替			
④	700 x 350	天井材撤去・張替	⑨	1300 x 300	天井塗替
⑤	1300 x 1300	天井材撤去・張替	⑩	1350 x 150	壁塗替
⑥	700 x 700	天井材撤去・張替	⑪	400 x 200	壁塗替

照明器具、スピーカー取付跡を補修する。
サイズは参考とする。

浮遊石綿濃度測定を作業中及び作業完了後に1階林務研修前通路及び2階廊下で行うこと。
(測定点及び測定箇所は参考とする)

階数	施工場所	仕上等	検体採取 分析調査 (実施済:○)	石綿含有 有無 (有のみ記載)	飛散対策 有無	施工内容 (石綿含有ありのみ記載)	備考
1	外壁	磁器タイル	○				
	外壁 柱型	吹付タイル	○	有	有	アンカー打ち	照明取替(既設ボルト流用不可)
1	機械室	建具シーリング	○				
		非常用発電機排気管ガスケット 非常用発電機排気管断熱材		不明	有	排気管撤去	石綿分析調査(検体採取共)を本工事で実施 石綿分析調査(検体採取共)を本工事で実施
1	警備員室、和室	天井 化粧石膏ボード ⑨	○				
	和室	天井 化粧石膏ボード ⑨	○				
1	会議室	天井 クロス貼 PB ⑨	○				
		壁 ビニールクロス貼 PB ⑨	○				
1	倉庫(1)	天井 塗装仕上	○	有		施工なし	
		壁 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	男子更衣室	天井 化粧石膏ボード ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	廊下	天井 岩綿吸音板 ⑨	○				
		壁 PB 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	書庫(1)	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	アンカー打ち	新設金属ダクト
1	書庫(2)	天井 化粧石膏ボード ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	アンカー打ち	新設金属ダクト
1	林務研修課	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	玄関ホール	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 磁器タイル	○				
1	会計課分室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 モルタル塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	指定金融機関室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	地域総務課	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	長寿支援課分室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	農業委員会事務局	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	通路	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	アンカー、ビス打ち	新設配管、分電盤
1	身障者用便所	天井 石綿セメント板 ④		有(みなし)	有	電源穴開孔	新設配管、コンセント
		壁 モルタル塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
1	男子便所、女子便所	天井 石綿セメント板 ④		有(みなし)	有	電源穴開孔	新設配管、コンセント
		壁 磁器タイル	○				
1	1階上	階段室(1)	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨(1, 3, R階)	○			
		壁 吹付タイル(2階)	○	有		施工なし	
1	1階下	階段室(2)	天井 吹付タイル(1階)	○	有	アンカー、ビス打ち	照明取替、新設配管
		壁 化粧石膏ボード ⑨(2階)	○	有	有	アンカー、ビス打ち	照明取替(既設ボルト流用不可)
2	農政課、建設課、都市整備課、学校教育課	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
2	廊下	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	アンカー、ビス打ち	新設配管、分電盤
2	農政課	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 化粧石膏板	○				
2	第1会議室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 化粧石膏板	○				
2	倉庫(3)	天井 化粧石膏ボード ⑨	○	有		施工なし	
		壁 モルタル塗 塗装仕上	○				
2	印刷室	天井 化粧石膏ボード ⑨	○	有	有	ビス打ち	新設配管、コンセント
		壁 PB 塗装仕上	○	有	有	アンカー、ビス打ち	新設配管、コンセント
2	電算室	天井 化粧石膏ボード ⑨	○	有	有	アンカー、ビス打ち	新設配管、コンセント
		壁 PB 塗装仕上	○	有	有	アンカー、ビス打ち	新設配管、コンセント
2	放送機械室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 ビニールクロス貼 PB ⑨	○				
2	電子入札室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 ビニールクロス貼 PB ⑨	○				
2	電子入札室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 ビニールクロス貼 PB ⑨	○				
2	教育総務課	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 ビニールクロス貼 PB ⑨	○				
2	教育長室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	書庫、傍聴者席	天井 岩綿吹付 PB ⑨	○				
		壁 銘木シート貼、クロス貼	○				
2	録音室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	通路(録音室前)	天井 化粧石膏ボード ⑨	○				
		壁 PB 塗装仕上	○				
2	書庫(北)	天井 化粧石膏ボード ⑨	○	有		施工なし	
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○				
2	印刷室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	閲覧室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有		施工なし	
2	中会議室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	書庫(南)	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有		施工なし	
2	社会教育課、文化スポーツ課	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	会議室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	小会議室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	大会議室	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 クロス貼 PB ⑨	○				
2	廊下	天井 岩綿吸音板 ⑨ +PB ⑨	○				
		壁 プラスター塗 塗装仕上	○	有	有	アンカー、ビス打ち	新設配管、分電盤
屋上	外壁	吹付タイル	○	有	有	アンカー打ち	照明取替(既設ボルト流用不可)
	屋外型キュービクル	耐火パテ	○	有	有	撤去	



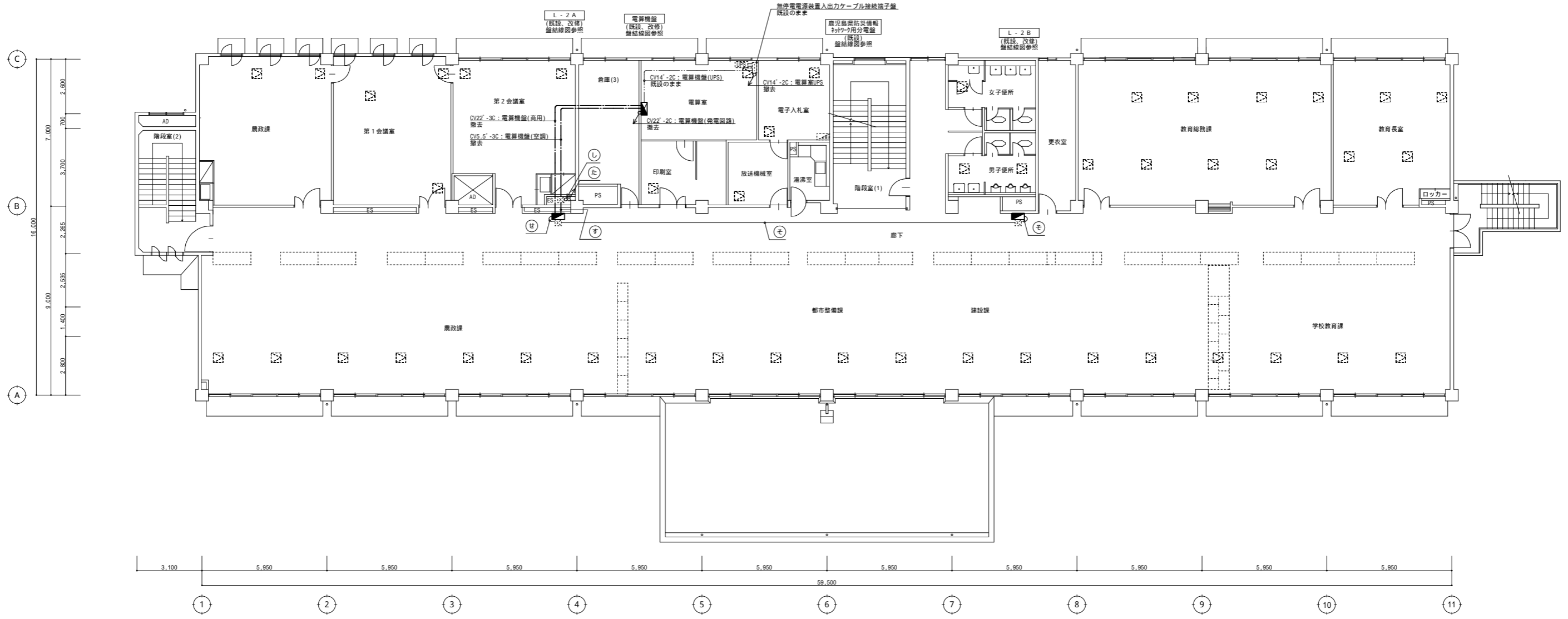
記号	記線	配管	施工	種別	行先	備考
あ	BKV CV38'-3C	(70)	土中、露出	高圧	構内引込柱-キュービクル	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	CV3.5'-5C	(54)	土中、露出	G R用	構内引込柱-キュービクル	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV100'	(FEP80)	土中	電灯	キュービクル-L-1A	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV100'	(FEP80)	土中	電灯	キュービクル-L-2A	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV100'	(FEP80)	土中	電灯	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	CV38'-3C	(FEP80)	土中	動力	キュービクル-発電機	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV150'	(FEP100)	土中	動力	キュービクル-M-1	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV150'	(FEP100)	土中	動力	キュービクル-M-2	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV150'	(FEP100)	土中	動力	キュービクル-M-3	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	DV22'-3C	(FEP50)	土中	動力	キュービクル-P-1B、P-3	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	AP8'-3C	(FEP50)	土中	動力	キュービクル-P-1A(消火ポンプ)	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	E60'	(FEP50)	土中	接地	D種接地 キュービクル-庁舎	配線撤去 配管は露出上りのみ撤去
	—	(FEP50) x 3	土中	予備		既設のまま
い	DV100'	(FEP80)	土中	電灯	キュービクル-L-1A	配線撤去 配管は既設のまま
	DV100'	(FEP80)	土中	電灯	キュービクル-L-2A	配線撤去 配管は既設のまま
	DV100'	(FEP80)	土中	電灯	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま
	CV38'-3C	(FEP80)	土中	動力	キュービクル-発電機	配線撤去 配管は既設のまま
	DV150'	(FEP100)	土中	動力	キュービクル-M-1	配線撤去 配管は既設のまま
	DV150'	(FEP100)	土中	動力	キュービクル-M-2	配線撤去 配管は既設のまま
	DV150'	(FEP100)	土中	動力	キュービクル-M-3	配線撤去 配管は既設のまま
	DV22'-3C	(FEP50)	土中	動力	キュービクル-P-1B、P-3	配線撤去 配管は既設のまま
	AP8'-3C	(FEP50)	土中	動力	キュービクル-P-1A(消火ポンプ)	配線撤去 配管は既設のまま
	E60'	(FEP50)	土中	接地	D種接地	配線撤去 配管は既設のまま
	—	(FEP50) x 2	土中	予備		既設のまま
え	IV38' x 3	(39)	インベイ	動力	キュービクル-発電機	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 3	(25)	インベイ	動力	キュービクル-P-1B	配線撤去 配管は既設のまま
	AP8'-3C	(31)	インベイ	動力	キュービクル-P-1A(消火ポンプ)	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-1A(G1系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-2A(G2系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	IV5.5' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-1B(G3系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	E22'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
お	IV38' x 3	(39)	露出	動力	キュービクル-発電機	配線撤去
	AP8'-3C	(31)	露出	動力	キュービクル-P-1A(消火ポンプ)	配線撤去
	IV14' x 2	(25)	露出	電灯	発電機1-L-1A(G1系統)	配線撤去
	IV14' x 2	(25)	露出	電灯	発電機1-L-2A(G2系統)	配線撤去
	IV5.5' x 2	(25)	露出	電灯	発電機1-L-1B(G3系統)	配線撤去
	E22'	(19)	露出	接地	D種接地	配線撤去
か	IV38' x 3	(39)	露出	動力	キュービクル-発電機	配線撤去
	IV14' x 2	(25)	露出	電灯	発電機1-L-1A(G1系統)	配線撤去
	IV14' x 2	(25)	露出	電灯	発電機1-L-2A(G2系統)	配線撤去
	IV5.5' x 2	(25)	露出	電灯	発電機1-L-1B(G3系統)	配線撤去
	E14'	(19)	露出	接地	D種接地	配線撤去
き	IV38' x 3	(39)	インベイ	動力	キュービクル-発電機	配線撤去 配管は露出部のみ撤去
	IV38' x 3	(39)	インベイ	動力	発電機-発電機1	配線撤去 配管は露出部のみ撤去
	E14'	(19)	インベイ	接地	D種接地	配線撤去 配管は露出部のみ撤去
く	IV100' x 3	(63)	インベイ	電灯	キュービクル-L-1A	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-1A(G1系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	E38'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
け	IV38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-1A-L-1B	既設のまま
	IV5.5' x 2	(25)	インベイ	電灯	L-1A-L-1B(G1系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	E8'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	—	(31) x 2	インベイ	予備		既設のまま
こ	IV5.5' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-1B(G3系統)	配線撤去 配管は既設のまま
さ	IV38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-1A-L-1B	既設のまま
	IV5.5' x 2	(25)	インベイ	電灯	L-1A-L-1B(G1系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	IV5.5' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-1B(G3系統)	既設のまま
	E8'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
し	IV100' x 3	(63)	インベイ	電灯	キュービクル-L-2A	配線撤去 配管は既設のまま
	DV5.5'-3C	(63)	インベイ	動力	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま
	IV100' x 3	(63)	インベイ	動力	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま
	IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統1) M-1に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま
	IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統2) M-2に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま
	IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-M-3	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 3	(25)	インベイ	動力	キュービクル-P-3	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-2A(G2系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	E60'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	—	(51) x 2	インベイ	予備		既設のまま
せ	弱電引込	(36)	土中	弱電	構内引込柱-庁舎	配線撤去 配管は既設のまま
	—	(36)	土中	予備		既設のまま

記号	記線	配管	施工	種別	行先	備考
し	IV100' x 3	(63)	インベイ	電灯	キュービクル-L-2A	配線撤去 配管は既設のまま
	DV5.5'-3C	(63)	インベイ	動力	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま
	IV100' x 3	(63)	インベイ	動力	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま
	IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統1) M-1に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま
	IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統2) M-2に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま
	IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-M-3	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 3	(25)	インベイ	動力	キュービクル-P-3	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 2	(25)	インベイ	電灯	発電機1-L-2A(G2系統)	配線撤去 配管は既設のまま
	E60'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	—	(51) x 2	インベイ	予備		既設のまま
せ	弱電引込	(36)	土中	弱電	構内引込柱-庁舎	配線撤去 配管は既設のまま
	—	(36)	土中	予備		既設のまま

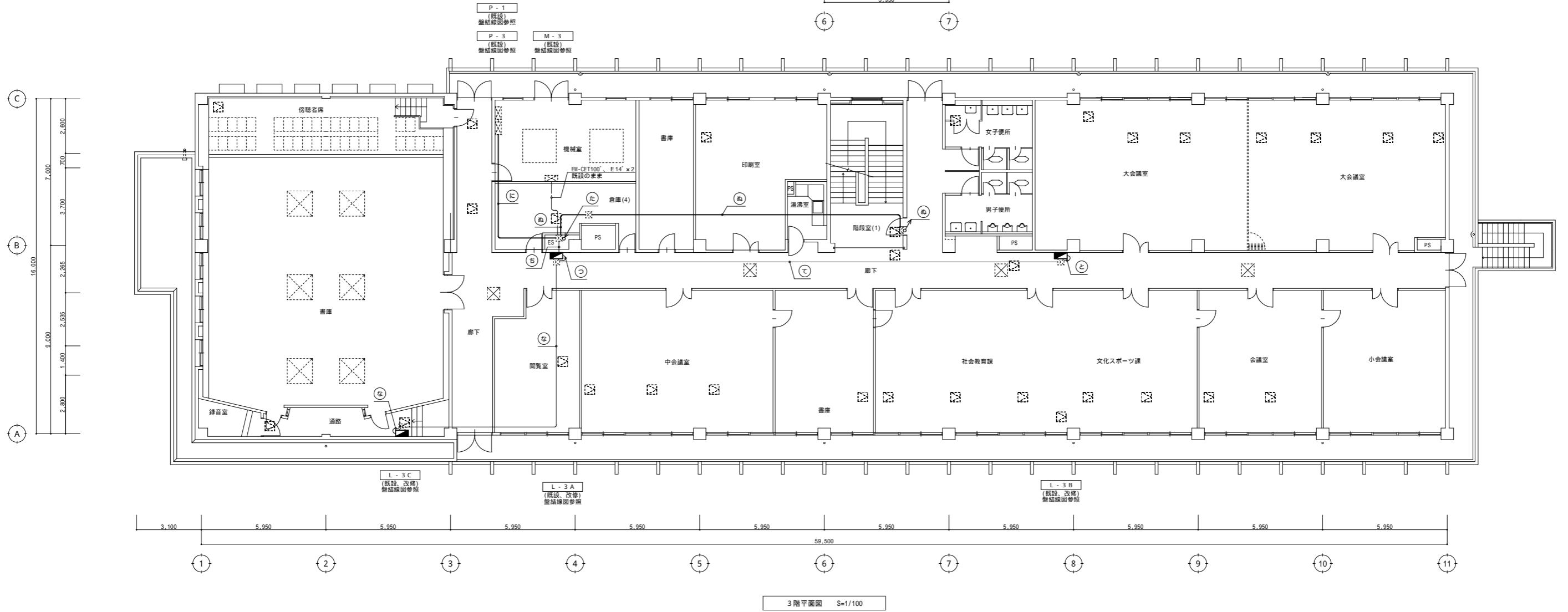
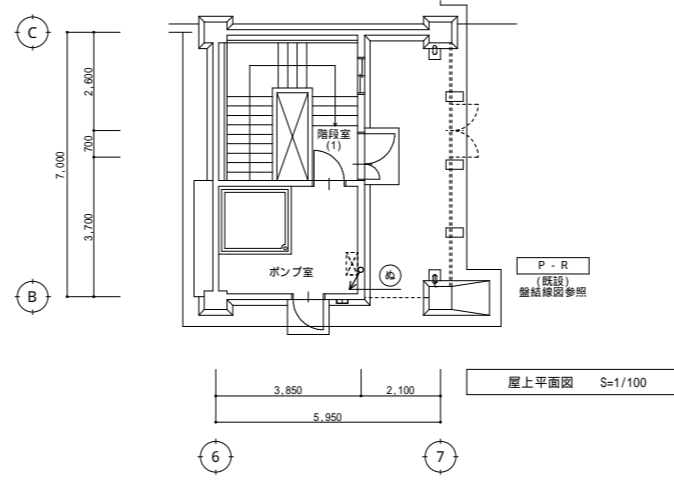


配線リスト

記号	配線	配管	施工	種別	行先	備考	記号	配線	配管	施工	種別	行先	備考
⑨	IV100' x 3	(63)	インベイ	電灯	キュービクル-L-2A	配線撤去 配管は既設のまま	⑩	IV100' x 3	(63)	インベイ	電灯	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま
	IV14' x 2	(25)	インベイ	電灯 (発電回路)	発電機盤1-L-2A(G2系統)	配線撤去 配管は既設のまま		IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統1) M-1に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま
	E38'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま		IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統2) M-2に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま
	—C—	(31)	インベイ	予備		既設のまま		IV150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-M-3	配線撤去 配管は既設のまま
⑪	IV38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-2A-L-2B	既設のまま		IV14' x 3	(25)	インベイ	動力	キュービクル-P-3	配線撤去 配管は既設のまま
	IV2.0 x 2	(19)	インベイ	電灯 (発電回路)	L-2A-L-2B(G2系統)	既設のまま		E60'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	E8'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま		—C—	(51) x 2	インベイ	予備		既設のまま
	—C—	(31) x 2	インベイ	予備		既設のまま							
⑫	IV38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-2A-L-2B	既設のまま							
	IV2.0 x 2	(19)	インベイ	電灯 (発電回路)	L-2A-L-2B(G2系統)	既設のまま							
	E8'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま							



2階平面図 S=1/100



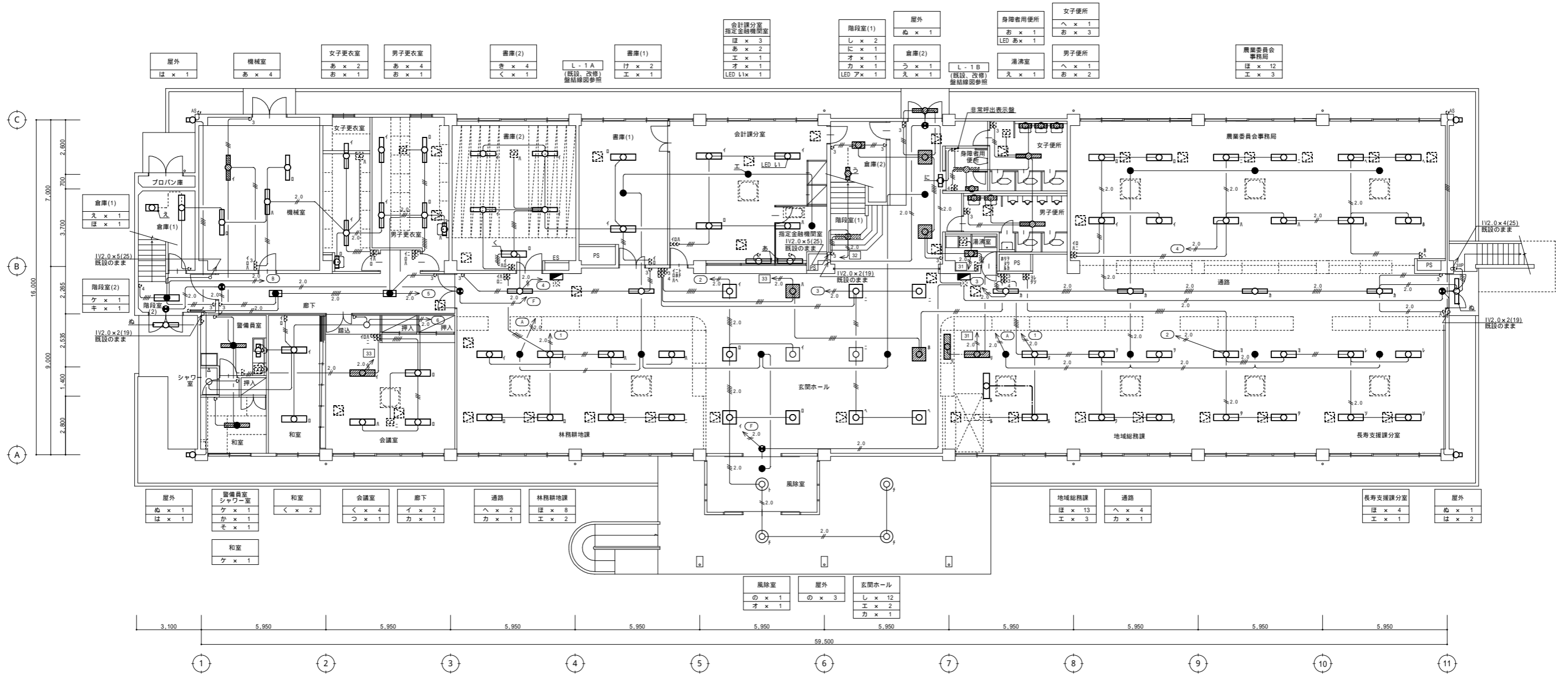
配線リスト

記号	配線	配管	施工	種別	行先	備考	記号	配線	配管	施工	種別	行先	備考
㊦	1V100' x 3	(63)	インベイ	電灯	キュービクル-L-3A	配線撤去 配管は既設のまま	㊧	1V22' x 3	(31)	インベイ	電灯	L-3A-L-3C	既設のまま
	E38'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま		E14'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	—C—	(31)	インベイ	予備		既設のまま		—C—	(31) x 2	インベイ	予備		既設のまま
㊨	1V38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-3A-L-3B	既設のまま	㊩	1V14' x 3	(25)	インベイ	動力	キュービクル-P-3	配線撤去 配管は既設のまま
	1V22' x 3	(31)	インベイ	電灯	L-3A-L-3C	既設のまま		E5.5'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	E14'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま		㊪	1V150' x 3	(75)	インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統1) M-1に接続替え済み、不使用
—C—	(31) x 2	インベイ	予備		既設のまま	1V150' x 3	(75)		インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統2) M-2に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま	
1V38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-3A-L-3B	既設のまま	1V150' x 3	(75)		インベイ	動力	キュービクル-P-R(系統3) M-3に接続替え済み、不使用	配線撤去 配管は既設のまま	
㊬	E8'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま	—C—	E38'	(25)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま
	1V38' x 3	(39)	インベイ	電灯	L-3A-L-3B	既設のまま		—C—	(51)	インベイ	予備		既設のまま
	E8'	(19)	インベイ	接地	D種接地	既設のまま							
—C—	(31) x 2	インベイ	予備			既設のまま							



照明器具リスト

記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様	記号	仕様
あ	露出型 FL40W×1	さ	埋込型 FL20W×2 埋込寸法：650×300	な	露出型 FL20W×1 標示灯(黒文字、白地)『開会中』	ア	露出型 FL40W×1 非常照明兼用型
い	露出型 FL40W×2	し	埋込型 FL20W×5 埋込寸法：650×650	に	露出型 FL20W×1 標示灯(白文字、赤地)『使用中』『放送中』	イ	埋込型 FL20W×2 非常照明兼用型 埋込寸法：650×300
う	露出型 FL20W×1	す	埋込型 FL40W×1 黒板灯 埋込寸法：1250×250	ぬ	露出型 FL40W×1 SUS,WP	ウ	ブラケット HF32W×1 非常照明兼用型 階数表示付
え	露出型 FL20W×2	せ	吊下型 FL40W×1	ね	露出型 FL20W×1 SUS,WP	エ	非常照明 ダウンライト IL40W×1 埋込寸法：200
お	露出型 FL15W×1 ミラーライト	そ	露出型 IL40W×1 防湿・防雨型	の	埋込型 FCL40W×300 SUS,WP 埋込寸法：600	オ	非常照明 ダウンライト IL20W×1 埋込寸法：150
か	露出型 FL20W×1 キッチンライト 手元スイッチ付	ち	ペンダント IL10W×1	は	ブラケット IL60W×1 SUS,WP	カ	避難口誘導灯 直付型 FL20W×1 中型
き	埋込型 FL40W×1 埋込寸法：1250×190	た	ペンダント IL15W×1 SUS,WP 非常用進入口赤色表示灯	ひ	ブラケット IL15W×1 SUS,WP 非常用進入口赤色表示灯	キ	避難口誘導灯 吊下型 FL20W×1 中型 片面表示 吊下ポール長：1.3m
く	埋込型 FL40W×2 埋込寸法：1250×300	つ	レセプタクル IL40W×1	ふ	スポットライト IL150W×1	ク	通路誘導灯 天井型 FL20W×1 中型 両面表示
け	埋込型 FL40W×3 埋込寸法：1250×300	て	ダウンライト IL100W×1 埋込寸法：200	へ	露出型 HF32W×1	ケ	露出型 HF63W×1 非常照明兼用型
こ	埋込型 FL40W×6 埋込寸法：1250×1250	と	ダウンライト MF100W×1 AC200V 埋込寸法：300	ほ	露出型 HF32W×2		



注記) 図中特記なき配線は下記による。

IV1.6×2	(19)	配線撤去 配管は既設のまま
IV1.6×3	(19)	既設のまま
IV1.6×4	(25)	既設のまま
IV1.6×5	(25)	既設のまま
IV1.6×6	(25)	既設のまま
2.0		配線撤去 配管は既設のまま
2.0	(19)	既設のまま
2.0	(19)	既設のまま
2.0	(25)	配線撤去 配管は既設のまま
2.0	(25)	既設のまま
HIV1.6×2	(19)	既設のまま
WF1.6-3C(1C:E)		撤去
IV1.2×8	(25)	配線撤去 配管は既設のまま

薄線は既設のままを示す。

1階平面図 S=1/100

非常電源回路の照明器具はハッチングを示す
例:

有限会社 設備共同プラン

〒890-0061
鹿児島市天保山町4-6第2号英社ビル201号
TEL (099)298-5750
FAX (099)298-5751

検印

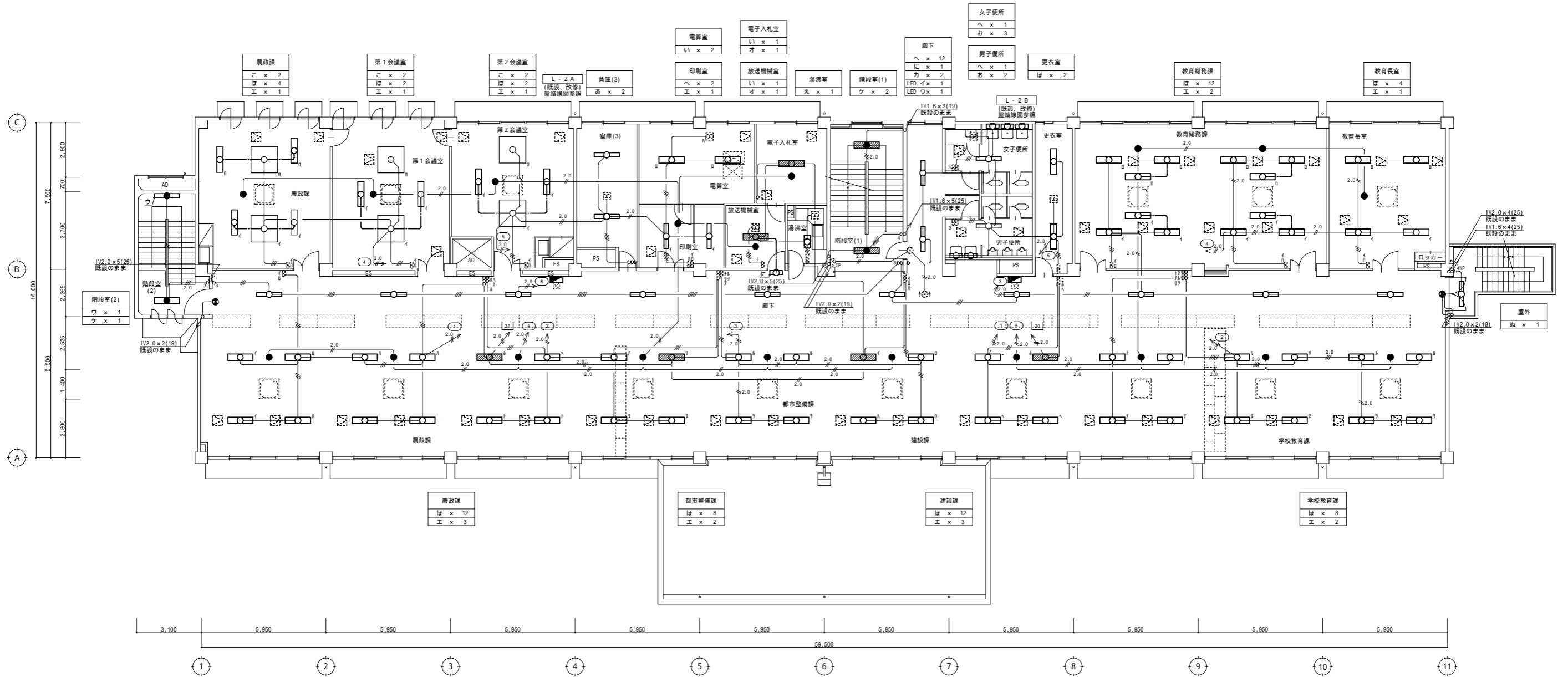
検出 担当 製図

業務名称
鹿児島市天保山町4-6第2号英社ビル201号
改修前 電灯(照明、非常照明、誘導灯)設備 1階平面図

日付
令和7年12月

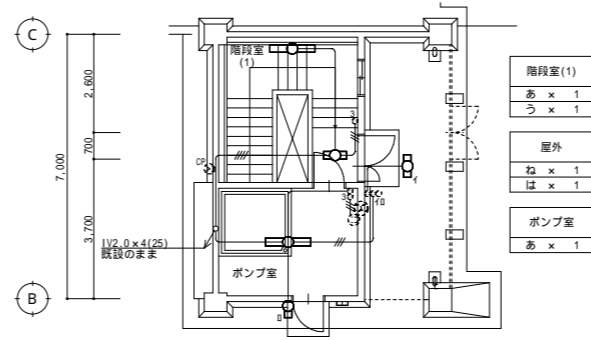
縮尺
S=1/100

図面番号
33/40

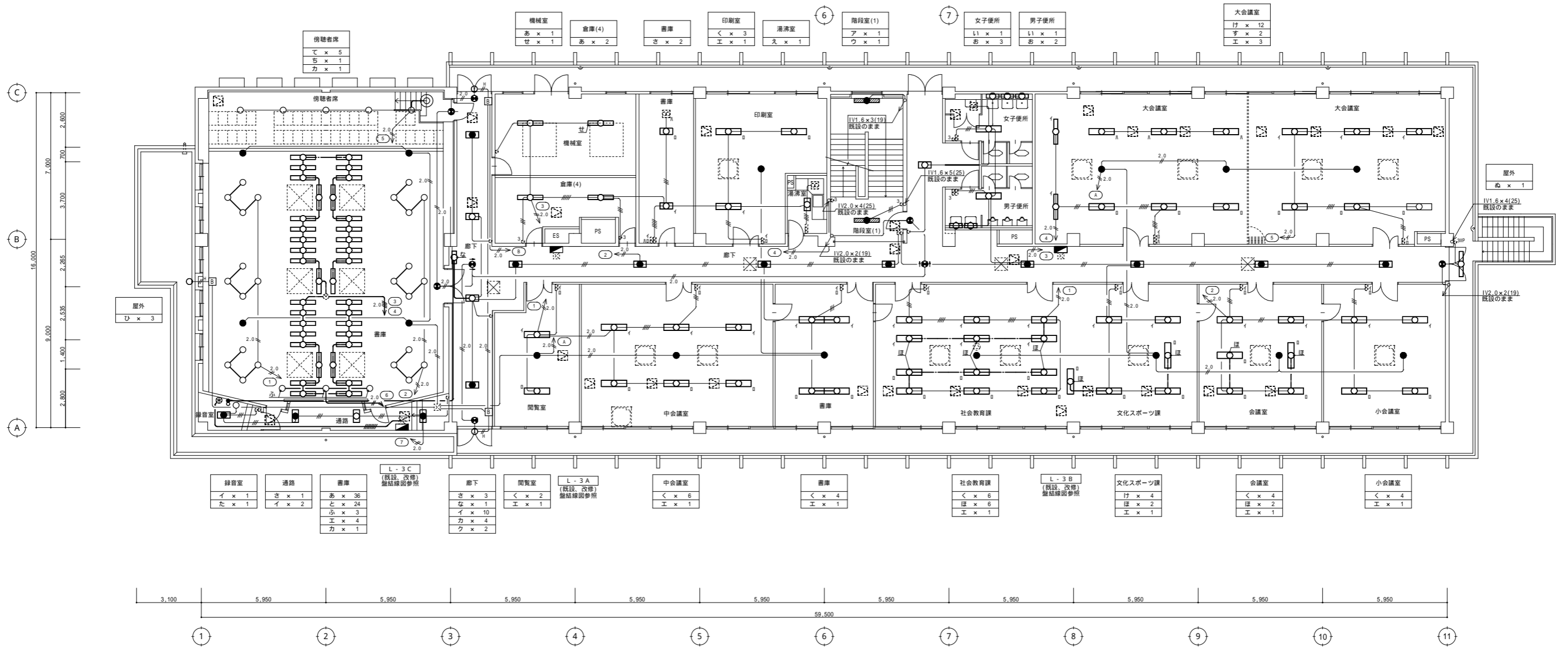


2階平面図 S=1/100

非常用電源の照明器具は
ハッチングで示す
例：



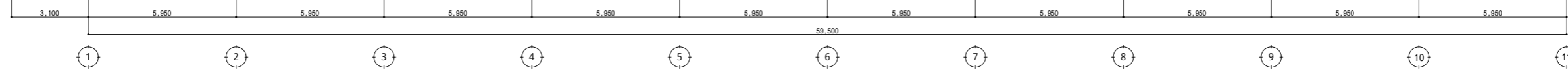
2階平面図 S=1/100

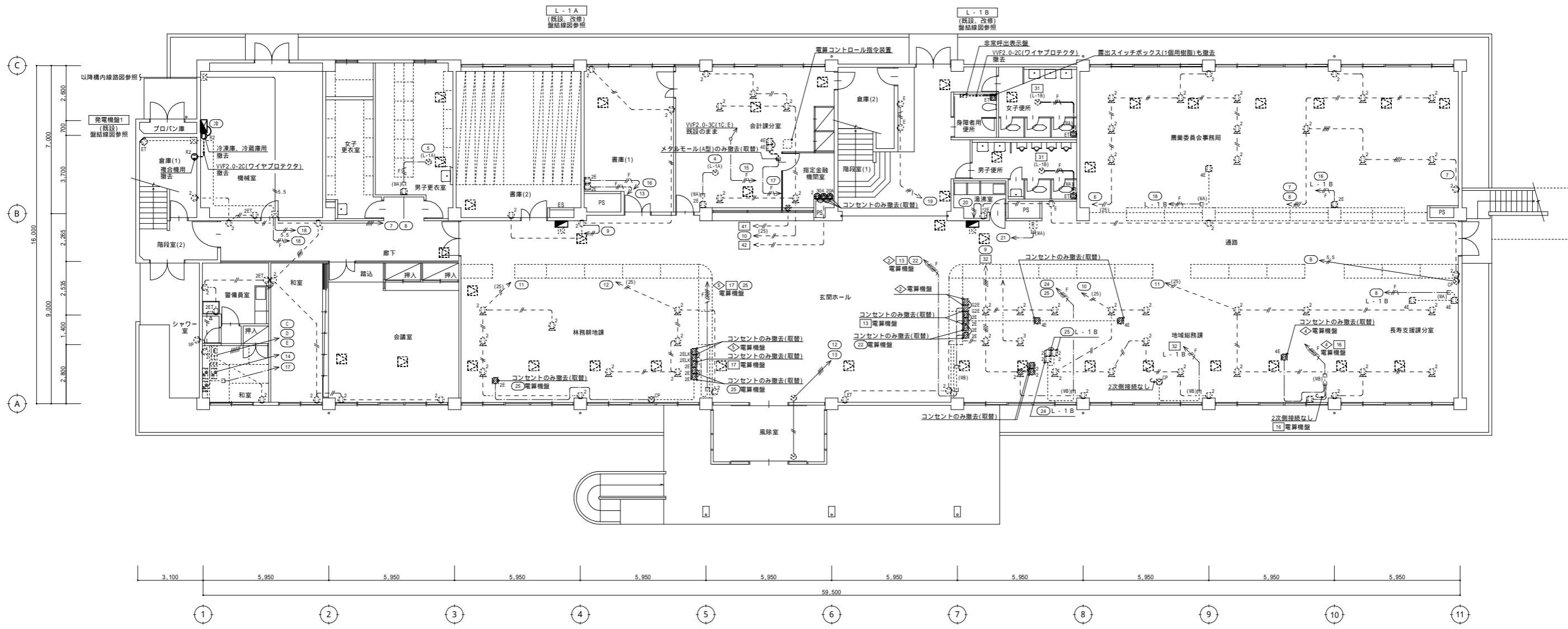


3階平面図 S=1/100

非常電回路の照明器具はハッチングで示す
例:

- | | | | | | | | | | | | | |
|-----------------------|----------------------|---|---------------------------|--|---------------------------|------------------------|----------------------|----------------------------------|---------------------------|------------------------------------|--------------------------------|------------------------|
| 録音室
イ x 1
タ x 1 | 通路
サ x 1
イ x 2 | 図書
ア x 36
ト x 24
ホ x 3
ニ x 4
カ x 1 | L-3C
(既設、改修)
盤結線図参照 | 廊下
サ x 3
ナ x 1
イ x 10
カ x 4
ク x 2 | L-3A
(既設、改修)
盤結線図参照 | 中会議室
ク x 6
エ x 1 | 図書
ク x 4
エ x 1 | 社会教育課
ク x 6
ホ x 6
エ x 1 | L-3B
(既設、改修)
盤結線図参照 | 文化スポーツ課
ケ x 4
ホ x 2
エ x 1 | 会議室
ク x 4
ホ x 2
エ x 1 | 小会議室
ク x 4
エ x 1 |
|-----------------------|----------------------|---|---------------------------|--|---------------------------|------------------------|----------------------|----------------------------------|---------------------------|------------------------------------|--------------------------------|------------------------|





1階平面図 S=1/100

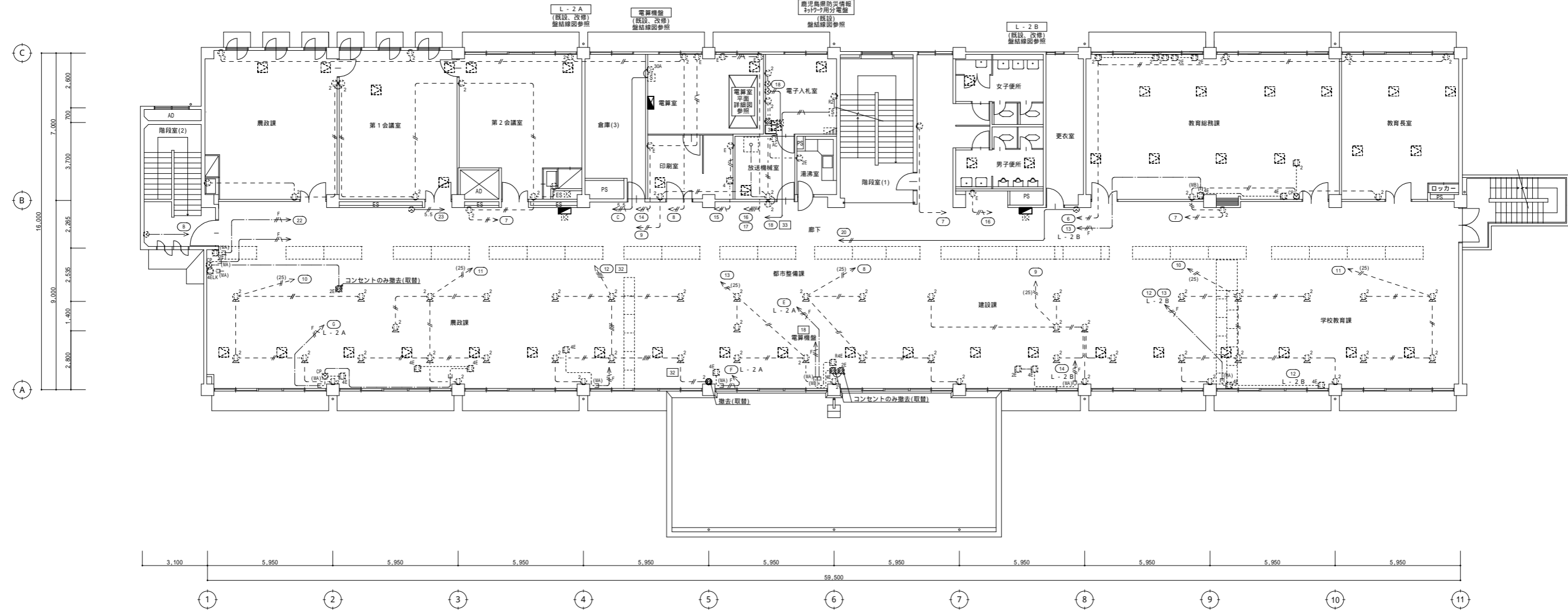
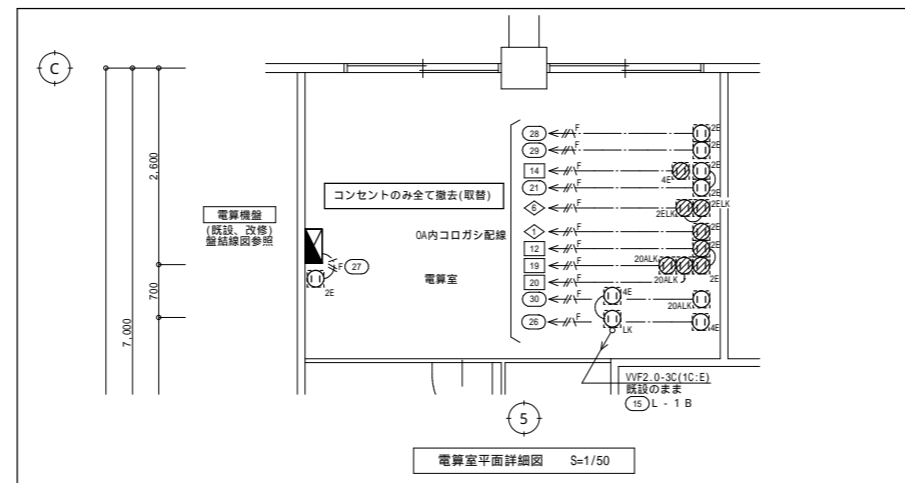
非常時電源のコンセントはハッチングで示す。
例: (16)

注記) 図中特記なき配線は下記による。

---	WF2.0-3C(1C:E)	撤去	----	IV1.6×2	(19)	既設のまま	---	WF2.0-3C(1C:E)	(25)	既設のまま
---	IV1.6×2	(19)	既設のまま	---	IV2.0×2	(19)	既設のまま	---	WF2.0-2C	既設のまま
---	IV2.0×2	(19)	既設のまま	---	IV2.0×2	(25)	既設のまま	---	WF2.0-3C(1C:E)	既設のまま
---	(25) IV2.0×2	(25)	既設のまま	---	IV2.0×4	(25)	既設のまま	---	WF2.0-2C×2	既設のまま
---	IV2.0×4	(25)	既設のまま	---	IV2.0×2, E2.0	(19)	既設のまま	---	WF2.0-3C(1C:E)	既設のまま
---	IV2.0×6	(25)	既設のまま	---	IV2.0×4, E2.0	(25)	既設のまま			
---	5.5 IV5.5'×2	(25)	既設のまま							
---	5.5 IV5.5'×2, E2.0	(25)	既設のまま							

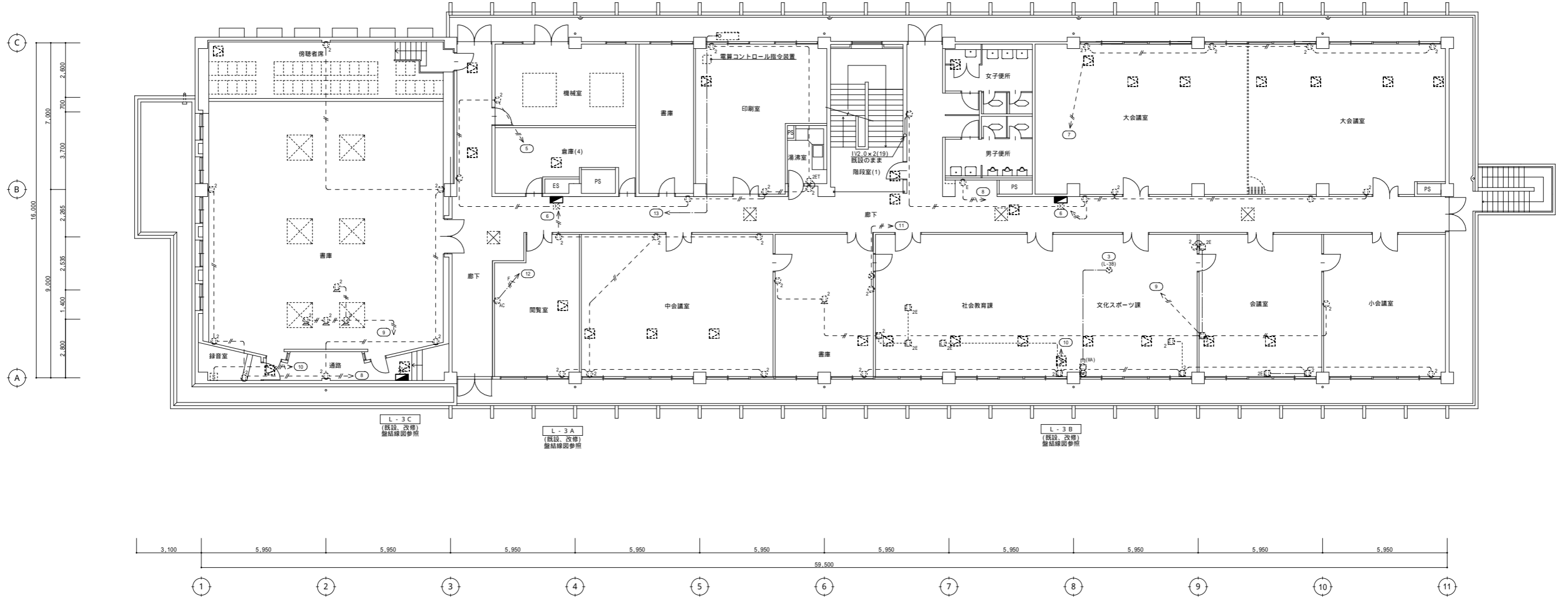
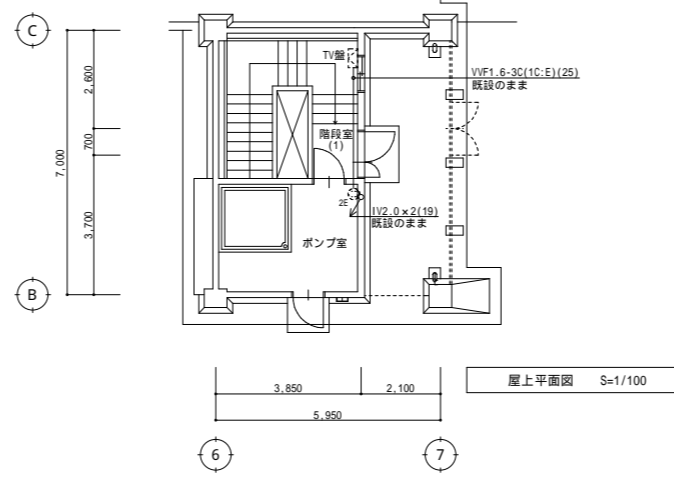
薄線は既設のままを示す。
配線傍記(MA)はメタルモールA型、(MB)はB型を示す。

 〒890-0061 鹿児島市天保山町4-6第2秀英ビル201号 TEL (099) 298-5750 FAX (099) 298-5751	検印 検出 担当 製図 	業務名称 鹿児島庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事 日付 令和7年12月 図面名称 改修前 電灯(コンセント)設備 1階平面図 縮尺 S=1/100	図面番号 36 / 40
	図面名称 改修前 電灯(コンセント)設備 1階平面図 縮尺 S=1/100		



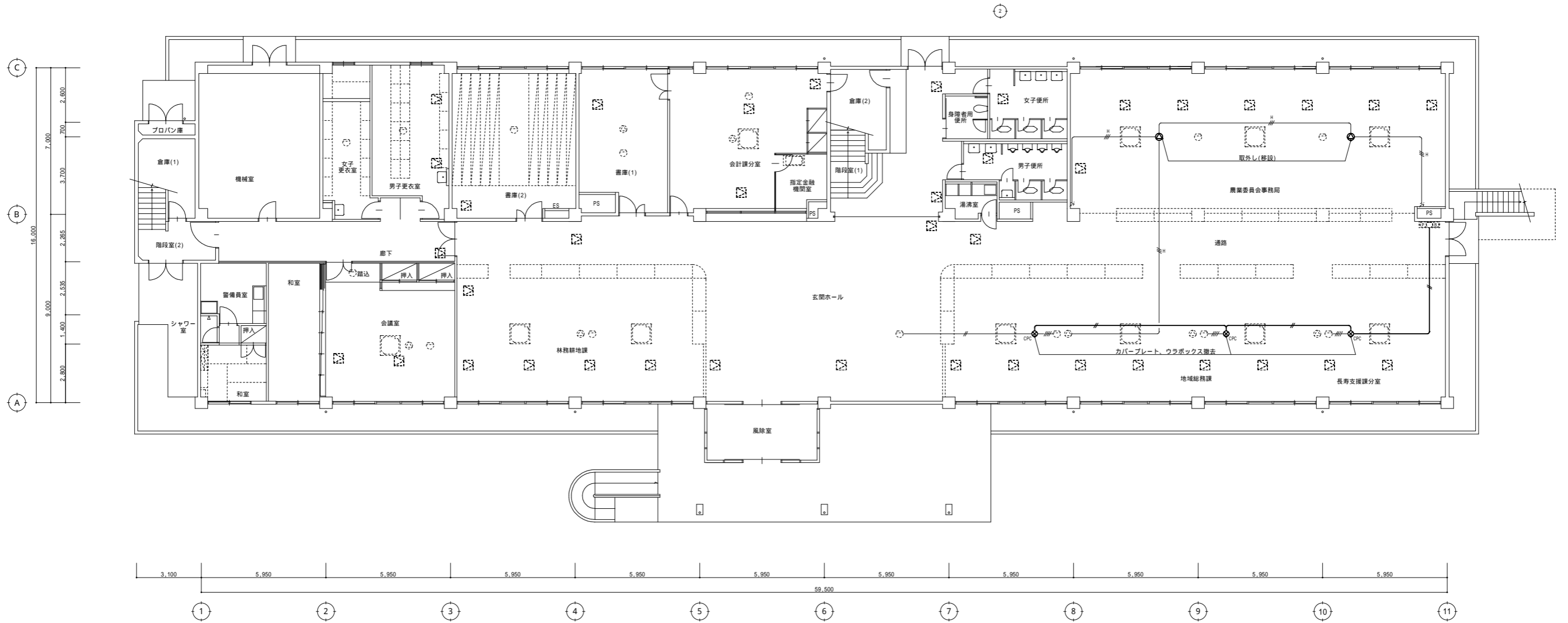
2階平面図 S=1/100

非常発電回路のコンセントは
ハッチングで示す。
例：(25)



3階平面図 S=1/100

非常発電回路のコンセントは
ハッチングで示す。
例：(10)

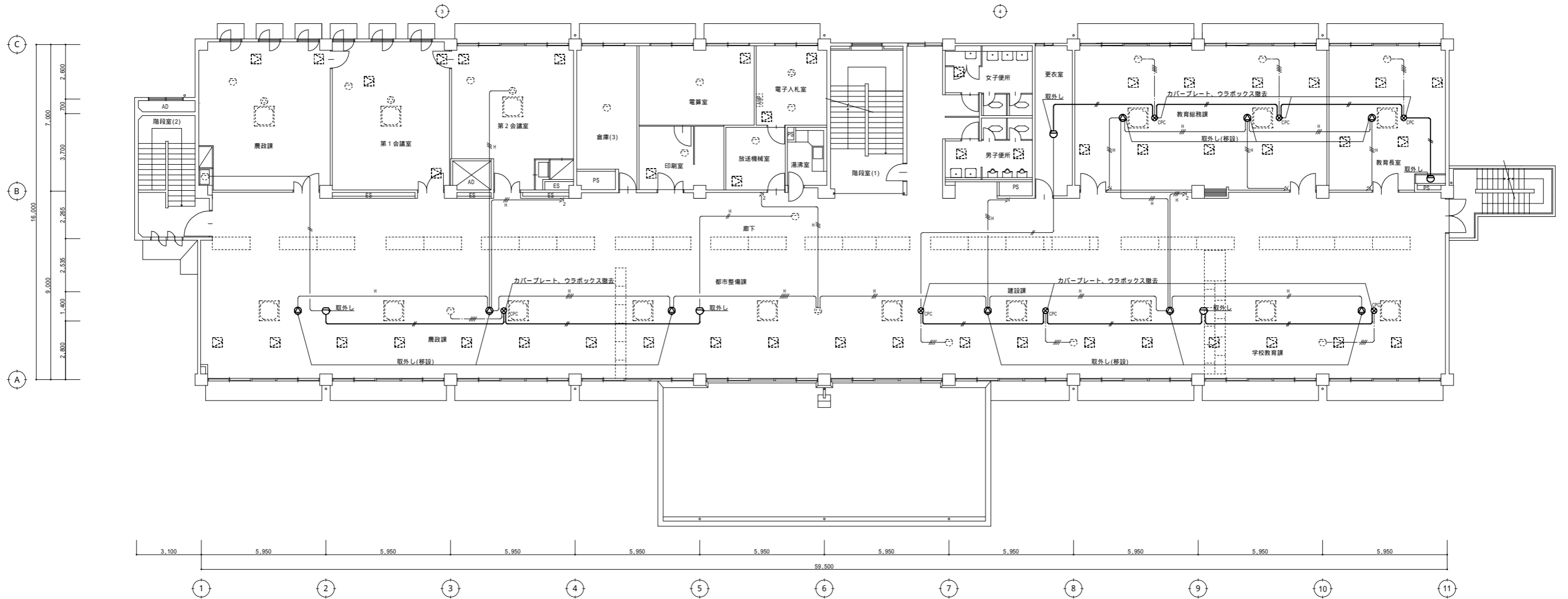


注記) 図中特記なき配線は下記による。

拡声設備			
	HI V1.2 x 2	(19)	既設のまま
	HI V1.2 x 3	(19)	既設のまま
	HI V1.2 x 4	(19)	既設のまま
	HI V1.2 x 5	(19)	既設のまま
自動火災報知設備			
	IV1.2 x 2	(19)	配線除去 配管は既設のまま
	AE1.2-4C		既設のまま

薄線は既設のままを示す。

1階平面図 S=1/100



2階平面図 S=1/100

		〒890-0061 鹿児島市天保山町4-6第2秀英社ビル201号 TEL(099)298-5750 FAX(099)298-5751	検印 検図 担当 製図	業務名称 鹿児島庁舎電気設備・高圧受変電設備等改修工事	日付 令和7年12月	図面番号 40 / 40
			図面名称 改修前 拡声、自動火災報知設備 2階平面図	縮尺 S=1/100		